

129-60

新樂金橘著

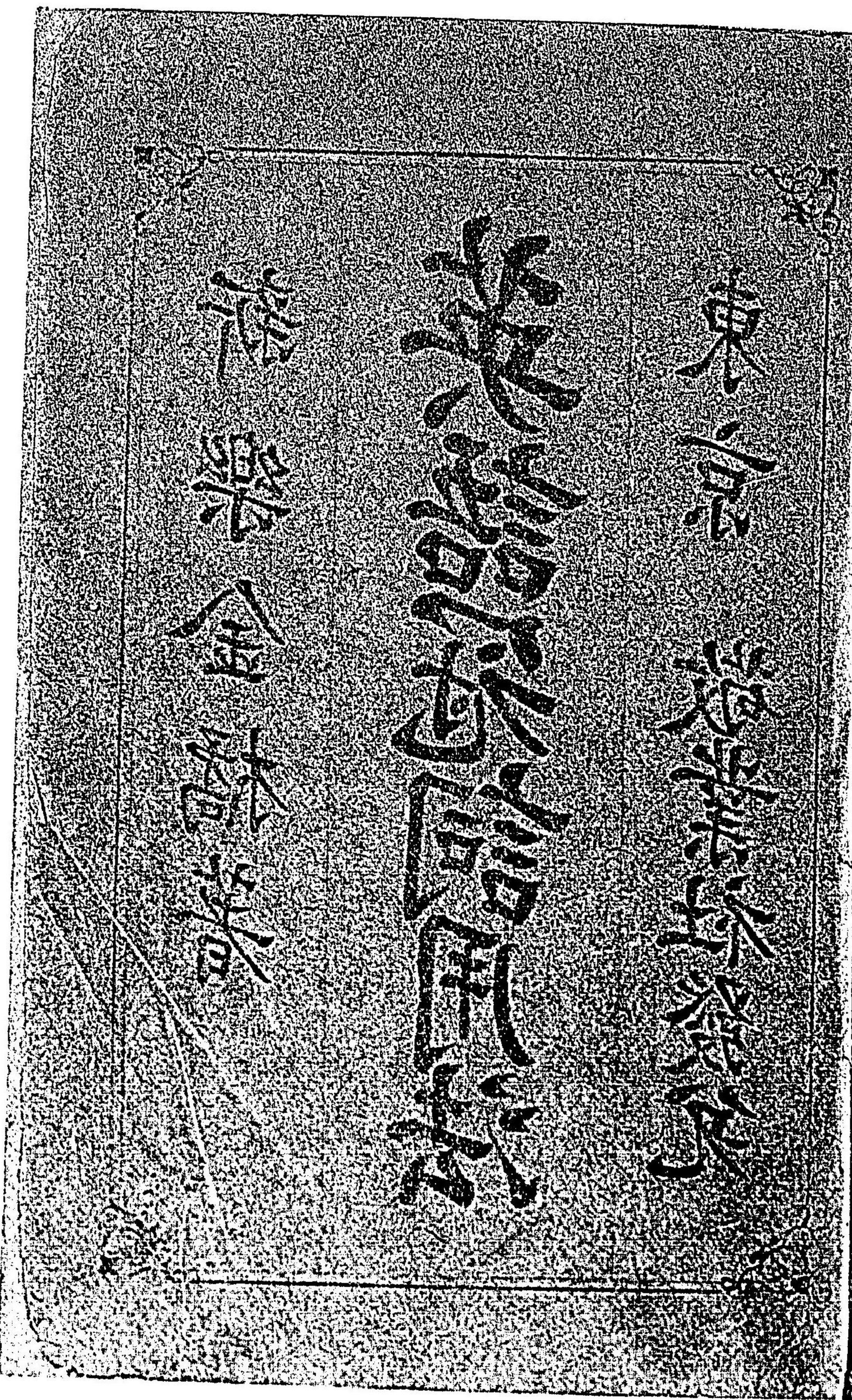
英語冠詞用法

東京 敬業社發兌

5-37
480

3000

時下溽暑之候益御清榮奉賀候陳は貴下
 には今度「英語冠詞用法」御編述に相成
 小生に序文として一言を徴せられ候處
 小生は從來日本流の序文は大不賛成に
 御座候其故自分も他人に依頼せず又萬
 々一他人より依頼を受け候共一切書か
 ざる事に致居り候是は一は自ら序文を書
 く力無きこ一は我國に所謂序文其物
 の十中八九は無用の長物には非らず耶
 こ折々疑惑仕候所以に御座候それも正
 何位動何等何爵何之某こか云ふ堂々た
 る肩書あらば下らぬ言を列ね候共俗物
 の眼を眩惑する一手段たらんも小生の



如き無位無官の一平民にありては錦上添華などは思ひも寄らず却て其書を瀆すの煩累たらんかと氣遣ひ居候右之次第ゆえ何卒不惡御推量被下度候。尤も貴稿之義は篤と拜讀仕候處順序の整然たる解釋の鄭寧なる引例の適切なる殆ど間然する所無之哉と存じ候殊に日本を譯するに「ジャバン」又は「ジャニス」の語を排斥し「ニッボン」。「ニッポニス」の新語を用ゐられたる御英斷世人は何と申さんが貴下が自ら信ずるの厚くして流俗の感化力に制せられざる所敬服の至に御座候要之貴書の我英學

界に有益なる一の「コンツリビューション」たるは小生の固く信して疑はざる所に御座候敬具

七月三十一日

磯邊彌一郎

新樂金桶様

英語冠詞用法

凡 例

- (一) 此書ハ尋常中學校及ビ之レト程度ヲ同
フスル學校ニ於ケル。英語科文法書ノ欠典
ヲ補ハント欲スル目的ヲ以テ編纂セシモ
ノニシテ。初學生徒ノ課書ニ充テント欲ス
ルヲ以テ。行文ハ達意ヲ主トシテ和文ヲ用
ヒ。以テ之レガ理會ニ易カラシメ。且ツ譯
文ノ如キハ特ニ雅俗ヲ交ヘ出シテ一定セ
ザルハ。其娛樂ヲ覺ヘバ。隨テ力ヲ焉ニ致
サンコトヲ思ヘバナリ
- (二) 歐人ノ冠詞ニ於ケルヤ。嬰孩ノ時ヨリ知
ラズ識ラズ之ヲ熟習シテ。殆ンド習性ト成
レルモノ、如シ。故ニ其文法書ノ中ニ。冠
詞ノ條ヲ設クルハ甚ダ鮮シ。偶々之ヲ設ク
ルアリト雖モ。率皆梗概タルニ過ギザルノ
ミ。其之レガ用法ヲ詳論スルノ書ニ至リテ
ハ未ダ嘗テ之アラザルナリ。是ニ由リテ之

ヲ觀レバ今日普通學校ノ教課ニ用ニル所ノ文法書ニ於テハ。我國ノ學生ニ冠詞ノ用法ヲ教フルニ適セザルナリ。是レ余ガ指斥シテ文法書ノ欠典ト稱スル所以ナリ

- (三) 此書。篇ヲ分ツニ八品詞ノ序次ヲ以テシタルハ。生徒ヲシテ其記憶シ易ク。且ツ參照ニ便ナラシメンヲ欲シテナリ
- (四) 近來。英文法ノ書ヲ編ム者ハ。其和人ト洋人トテ問ハズ。常ニ冠詞ヲ定冠詞。不定冠詞ノ二種ニ分テリ。然レモ嚮ニ ぶりんく り氏ハ之レニ分冠詞ヲ加ヘテ三種ト爲セリ。今余ハ尙ホ之レニ非冠詞ヲ加ヘテ四種ト爲ス
- (五) 此書。日本ヲ譯シテ Nippon。日本人或ハ日本語ヲ Nipponese ト爲ス。而シテ夫ノ Japan 及ビ Japanese ヲ用ヒズ。是レ深意ノ存スルアレバナリ。他日ヲ俟テテ論ズル所アラントス
- (六) 例題ノ英文中。冠詞ヲ具スル者ハ、單線

ヲ其冠詞ニ畫シ。具セザル者ハ。其名詞ニ畫シ。以テ之ヲ別ツ。例ヘバ Mathematics and the clasics should both be studied as a mental disipline. (數學と經學とは俱に心理學として學ぶべし)ノ如ク。又英文ノ文理ト漢文ノ文理ト符合スル者ハ。之ヲ譯スルニ漢文ヲ以テシ。且ツ之ヲ縱書ス An it be a long part, I can't remember it. (安^ウイ^テベ^クハ^ニ長^クナル^{部^分}ト^シテ^ハ長^クナル^{部^分}ヲ^ハ我^レハ^ハ記^スル^{コト}ヲ^ハ能^ハズ^ル)ノ如シ。其他人名及ビ物名ハ單線。地名ハ複線ヲ畫シ。字句ノ注意スベキ者ニハ。圈點ヲ施ス

- (七) 此書。凡ソ冠詞ニ關スル者ハ。大トナク小トナク悉皆。本文並ニ註解ニ於テ。詳說細論シテ遺ス所ナカラントナカメタリト雖モ。冠詞以外ノ文法上ノ規則ニ屬スル者ハ。一切闕如シテ。教師ノ補充ヲ俟タシメントス。若シ夫レ究郷僻陋ニ在リテ。教師ニ乏シキガ如キハ。文法書ニ就テ。探討考索セバ。兩者相發シテ。思半バニ過ギン

(八) 余常ニ文法ヲ好ミ。文法ノ書ヲ蒐ムル茲ニ年アリ。竟ニ筐底ニアル者。無慮一百五十餘種ニ及ベリ。今己レノ謝才菲識ヲ顧ミズ。浪リニ諸家ノ說ヲ綱羅折衷シ。冠詞ノ用法一百四十六章ヲ輯ムルヲ得タリ。僅々一小冊子ト雖モ。以テ文法書一百五十餘種ヲ繙クノ勞ニ代ルヲ得。而シテ著者ガ此ニ耗ス所ノ時間ノ消費ハ。讀者ニ彼ニ紓ム所ト爲リ。以テ方今國家ノ澎漲セル大流ニ件ヒ。與ニ俱ニ澎漲セザルベカラザル中等教育ノ源泉ニ。一條ノ水流ヲ注入センコトハ。著者ノ至望ニ勝ヘザル所ナリ

明治三十年三月

新樂金橋識

英語冠詞用法

目 録

第一篇	冠詞總論……………1
第二篇	固有名詞ニ關スル冠詞……………16
第三篇	普通名詞ニ關スル冠詞……………33
	物料名詞……………54
	抽象名詞……………55
	集合名詞及ビ衆多名詞……………56
第四篇	代名詞ニ關スル冠詞……………57
第五篇	形容詞ニ關スル冠詞……………60
第六篇	動詞ニ關スル冠詞……………78
第七篇	副詞ニ關スル冠詞……………81
第八篇	前置詞ニ關スル冠詞……………86
第九篇	接續詞ニ關スル冠詞……………87
第十篇	間投詞ニ關スル冠詞……………89
第十一篇	句ニ關スル冠詞……………90

英語冠詞用法

新樂金橘編

第一編

冠詞總論

第一章 凡ソ英文ヲ讀ミテ。之レガ文理ニ通曉セント欲シ。英語ヲ談シテ。己レノ意思ヲ表彰セント欲セバ。先ヅ名詞ノ用法ヲ明カニセザルベカラズ。而シテ名詞ノ用法ヲ明カニセント欲セバ。必ズ冠詞ノ用法ヲ知ラザルベカラズ。若シ冠詞ノ用法ヲ知ラズ。名詞ノ用法ヲ明カニセズシテ。夫ノ英文ヲ讀ミ。英語ヲ談ズルモノハ。未ダ必ズシモ其皮相ノ見ト鳩舌ノ談トヲ免カルベカラザルナリ。

冠詞 (Article) トハ。讀書或ハ談話ニ際シ。事物ノ全部。或ハ一分ヲ區分センガ爲メ。名詞ノ前ニ之ヲ具スルト具セザルトヲ以テ。其名

詞ノ意義ヲ知ル者ナリ。原ト article ナル詞ハ。拉典語ノ Artculus ヨリ由來セシモノニシテ。Artculus トハ英語ノ joint (節) 或ハ hinge (樞) = 當レリ。今之レガ意義ヲ擴メテ。文法ノ用語トセシハ。文章ノ關節ト爲リ。或ハ字句ノ樞機ト爲リテ。之ヲ繳結スルニ欠クベカラザルニ取レルモノナリ

冠詞 = 四種アリ。一ヲ定冠詞 (Definitive article) ト曰ヒ。二ヲ不定冠詞 (Indefinitive article) ト曰ヒ。三ヲ分冠詞 (Partitive article) ト曰ヒ。而シテ四ヲ非冠詞 (Negative article) ト曰フ。此詞ハ僅々四種ナリト雖モ。文章ノ中常ニ多クシテ。其用法ノ廣ク且ツ難キヲ以テ。往々之ヲ語類ノ一トシテ。九品詞ニ列スルニ至レリ

定冠詞

第二章 定冠詞トハ The ナル詞ニシテ。原ト that ヨリ由來シ。that ノ力ヲ強メザル形ト音トヲ取レリト雖モ。其包括スル力ニ至リテハ。that ノ及ブ能ハザル所ナリ

定冠詞ハ其具スル所ノ名詞ノ首字ガ。子音ヲ以テ始マルキハ [ザ] ト響キ。母音ヲ以テ始マルキハ [ゼ] ト響ク。例ヘバ The man (ザマン), the owl (ゼアウル)。ノ如シ。斯ノ如ク發音スルヲ以テ正シト爲スモ。實際ニ於テハ唯ダ [ゼ] ノミヲ用ユルニ似タリ

定冠詞ハ限定ノ義ヲ有スル詞ニシテ。數多ノ物ノ中ヨリ劃然之ヲ定メテ言フキニ用ユルナリ。故ニ文章或ハ會話ニ於テ。定冠詞ノ一般使用法ハ左ノ如シ

(一) 前ニ話シタル [或ハ記シタル] 物ノ名 [即チ名詞] = ハ。定冠詞ヲ具ス

I shot a pheasant and a quail, but I couldn't find the quail. (私ハ雉と鶉と射たのだが其鶉が見つからなかつた)

(註) A quail ハ數多ノ鶉ノ中ヨリ 漫然一羽ヲ擧ゲテ言ヒタル義ナレバ a ヲ具スト雖モ the quail = 至リテハ然ラズ既ニ前ニ話シタル鶉ニ就テ正ニ己レガ射タル其鶉ガト劃然之レヲ指定シテ言ヘリ故ニ the ヲ具ス

(二) 自他共ニ知リタル物ノ名ニハ。定冠詞ヲ具ス

- a. Where are you going?
- b. I am on my way to the prefectural office. (甲。何處へ行くか 乙。縣廳へ行く)

(註) 今甲乙ノ二人ヲ静岡縣下ノ者ト假定セバ其縣廳トハ静岡縣廳ナルヲハ自他共ニ知レタル名詞ナリ故ニ the ヲ具ス

(三) 唯一ト定マリタル物ノ名ニハ。定冠詞ヲ具ス

1 The Saturn has a bright ring around it. (土星ノ環)

2 A poor labourer who grew turnips in his garden bound among them one of enormous size. He gave it to the squire, who as a reward for his industry, gave him one yen. (一農民あり其園に蕪菜と作りしに巨大なる者一個と得てければ之を村長に贈りたるに村長は其勉勵の賞として金一圓を遣わしぬ)

(註) 第一例ノ土星ハ天然無二ノ名詞ニシテ地球上ニハ唯一ノ星ト定マリタリ又第二例ノ村長モ一村ニ唯

一ノ人ト定マリタリ故ニ the ヲ具ス

(四) 互ニ關係シタル物ノ名ニハ 定冠詞ヲ具ス

This is the bow these are the arrows. (此が弓で此が矢だ)

(註) 此矢ハ此弓ニ添ヒタル矢ニテ此弓ハ此矢ニ添ヒタル弓ナリト互ニ關係シタル名詞ナリ故ニ the ヲ具ス若シ These are arrows. (此は矢だ) ト云フキハ他ニ關係ナシ故ニ the ヲ具セズ

(五) 他ノ詞ニ限ラレタル物ノ名ニハ。定冠詞ヲ具ス

1 In present, Nishinoumi is the first wrestler. (今日では西の海が第一の力士なり)

2 Observe the custom of the country you enter. (郷に入りては郷に従へ)

(註) 第一例ハ first ナル他ノ詞ヲ以テ wrestler ヲ第一ノ力士ナリト格段ニ限定シテ他ニ比類ナカクシメタリ又第二例ハ you enter ナル詞ヲ以テ country. ヲ入りタル郷ト限定シ又 of the country you enter ナル詞ヲ以テ custom ヲ入りタル郷ノ風俗ト限定シタリ故ニ

the フ具ス

(六) 前ノ話ニ屬シタル物ノ名ニハ。定冠詞ヲ具ス

His carriage was upset, and the shafts were broken. (彼の馬車が轉覆して其轅が折れた)

(註) Shafts ナル詞ハ始メテ話ス名詞ナルモ前ノ話ニ屬シタル名詞ニシテ其轉覆シタル馬車ノ轅ナルコトハ判然タリ故ニ the フ具ス

(七) 注意ヲ促シタル名詞ニハ定冠詞ヲ具ス

Thou art the man. (汝は人なるぞ)

(註) 是レなさんガたびつどヲ誠メタル語ニシテ the フ具シタルガ爲メニ man ナル詞ニ就テ聽者ヲシテ儼然トシテ懼レ翻然トシテ悔ヒシムベキ語氣アリ

不定冠詞

第三章 不定冠詞ハ An ト A トノ二種ナリ。An ハ あんぐろさくそん語ノ ane ヨリ由來セシモノニシテ。ane ハ one ト同字ナリ。而シテ其 e ヲ省キテ an ト爲シ。再ビ n ヲ省キテ a ト爲セルモノナリ。故ニ時代ヨリ

之ヲ言ヘバ。an ハ a ヨリ古ク。ane ハ an ヨリ古キモノトス。

不定冠詞ハ其具スル所ノ名詞ノ首字ガ。子音或ハ半母音或ハ有聲ノ h 或ハ長音ノ u ナ以テ始マルキハ a ナ具ス

A man (一人), a year (一年), a wonder (一驚), a home (一家), a unit (一致).

又母音或ハ無聲ノ h ナ以テ始マルキハ an ナ具ス

An egg (一卵), an hour (一時).

(註) 首字ノ h ガ無聲ナラザルモ其詞ノ第二ノ熟音ニ強音ヲ有スルキハ an ナ具ス

1 An heroic deed (一偉業), an historical work (一史乘).

然レモ若シ強音ヲ有セザルキ或ハ首字ガ母音ナルモ y ノ如キ態ヲ有スルキハ a ナ具ス

2 A history (一史), a hero (一雄), a European (一歐人).

不定冠詞ハ計數ノ義ヲ有スル詞ニシテ。數多ノ物ノ中ヨリ漫然之ヲ數ヘテ言フキニ用

ユルナリ。故ニ文章或ハ會話ニ於テ不定冠詞ノ一般使用法ハ左ノ如シ

(一) 始メテ話ス物ノ名ニハ。不定冠詞ヲ具ス

At Kanazawa, there is a Buddhist temple named Yui-nenji; and one night a thief stole away its large bell.
(金澤有^ル佛^ノ廟^ニ曰^ク唯^ニ念^ノ寺^ト一^ト夜^ニ有^リ賊^ト盜^リ去^リ大^ノ鐘^ト)

(註) 此話ニ於テ Buddhist temple ト thief トハ始メテ話サレタル名詞ニシテ寺ト云フモ賊ト云フモ數多アルヲナレバ聽者ヲシテ格別ニ注意ヲ惹カシメズ唯々寺ナリ賊ナリト思ヒ去ラシムルニ過ギズ故ニ a^ヲ具スト雖モ若シ此話ヲ繼ギテ此寺ガ其賊ヲ云々ト談ズルハ何レモ the^ヲ具セザルベカラズ

(二) 汎ク話シタル物ノ名ニハ。不定冠詞ヲ具ス

1 A Nipponese never fears death. (日本人ハ決して死ヲ恐れぬ)

2 A man may lose all his property in a year. ((不論何人^ガ一年中^ニ悉ク其財産^ヲ消費^シ得^{ベシ})

(註) 第一例ノ日本人ト云ヘルハ全國ノ日本人ヲ舉

ゲテ言フニモアラス又一人ノ日本人ヲ指シテ言フニモアラス唯々汎ク日本人ト言フテ日本人ハ誰^デモ^ノ意ナリ又第二例ノ人ト云フモ最モ廣キ意義ニ漫然話シタルモノナリ故ニ。a^ヲ具ス此場合ノ a^ハ any (何^レニ^モ也)ト同義ナリ

(三) 數ノ定マラヌ物ノ名ニハ。不定冠詞ヲ具ス

A larger fortune I never desired. (余ハ決して之ヨリ大なる身代を望まぬ)

(註) 之ヨリ大ナル身代ト云フノミニテハ其身代ノ數ハ何程ナリヤ定マラス故ニ a^ヲ具ス

(四) 他ノ詞ニ限ラヌ物ノ名ニハ。不定冠詞ヲ具ス

1 I may hope to return to Nippon, with a fortune of thirty-thousand yens. (余ハ三萬圓ノ身代ト以テ日本に歸ると望む)

2 Man's but a walking shadow, and life's but a morning dream. (人生^ハ歩^ク影^トニ似^テシテ生命^ハ朝^ノ夢^トニ似^テス)

(註) 第一例ノ of thirty-thousand yens ナル詞ガ殆^ド fortune^ヲニ限定セルガ如シト雖モ三萬圓ノ身代ト

ルノ義]的ノ文章或ハ會話ニ使用ス。然レモ Any ハ原ト one ナ意味スル あんぐろさくそん 語ノ ane ノ略字 an ヨリ由來シ。a one ナ意味スルヨリ轉シテ no one ノ義トモ爲ルモノナレバ。此語ヲ使用スル人ノ心中ニハ。一定ノ考ヲ有セズ。何カ[何物カノ何カ]ノ義ナリ。故ニ非拒的或ハ疑問的ノ文章或ハ會話ニ使用ス。分冠詞ノ一般使用法ハ左ノ如シ

(一) 確定的ニ。總量或ハ總數ノ中ヨリ其幾分ヲ表ス物ノ名ニハ。some ナ具ス

1 Some bamboos grow very fairly in wet land. (水場で可なりに出来る竹もある)

2 Some people went on board the ship. (船に乗込んだ人もある)

(註) 凡ソ some ナ具スルノ名詞ハ量ヲ表スルハ物料名詞ニシテ數ヲ表スルハ普通名詞トス

(二) 制限的ニ。不定ノ數或ハ量ヲ表ス物ノ名ニハ。some ナ具ス

1 There are some good strawberries in my garden. (私の庭に可なり長き草苺子があります)

2 I have some very skilful jugglers at Yokohama. (私は横濱で大層上手な眩職を見ました)

(註) 第一例ニ於テ若シ some ナ省クキハ good ガ重シ爲リテ他ハ如何ナルモ己レノハ良イ義ト爲ルモ some アルガ故ニ他モ良カラシガト己レノ良キ[量]ヲ制限スルナリ又第二例ハ some ノアル故ヲ以テ人ノ數ヲ制限セリ

(三) 疑決的ニ。物ノ有ルヲ推量シテ言フ物ノ名ニハ。some ナ具ス

1 Are there not some news of the war? (何か戦争の新聞がありはしないか)

2 Are there not some teachers of navigation in the Naval College? (海軍兵學校には航海術の教師があるにあらざるや)

3 May I give you some more? (最つと上げませうか)

(註) 第三例ノ場合ニハ人ニ食物或ハ物品ヲ與フルキニ限ルモノニシテ some ハ量ヲ表シタリ

(四) 非拒的ニ。制限ナク量或ハ數ヲ表ス物ノ名ニハ。any ナ具ス

1 He is not a man of any ability. (彼は^{〇〇〇}毫も何の才もある人にあらず)

2 This thing ought not to be done at any time. (此事は^{〇〇〇}毫も何時までに爲さずんばあるべからざるにあらず)

(註) Any を not を有スル非拒ノ文章或ハ會話ニ用ユルキハ^{〇〇〇}毫も何ノ意ヲ有ス而シテ其非拒ノ詞ニ直接スルキハ殊ニ然リトス例ヘハ Not any doubt. (毫モ疑ハズ), without any thought. (毫モ思ハズ)ノ如シ

(五) 疑問的ニ。何レノ種類ニモ關セズ。量或ハ數ヲ表ス物ノ名ニハ。any ナ具ス

1 Have you any paper with you? (何^〇紙の御持合せがありますか)

2 Are there any other papers like it? (何^〇か之に似寄つた他の紙がありますか)

非冠詞

第五章 非冠詞ハ None ト No トノ二種ナリ。
none ハ あんぐろさくそん語ノ ne an 即チ not one
或ハ no one ナ短縮シタルモノニシテ。no ハ

none ナ短縮シタルモノナリトス

非冠詞ヲ名詞ニ具スルキハ。其事物ハ其種類ノ一ニアラザルノ意ヨリ轉シテ^{〇〇〇}坎然物ノ^{〇〇}無キ義ヲ表スルモノナリ。故ニ文章或ハ會話ニ於テ。非冠詞ノ一般使用法ハ左ノ如シ

(一) 一人モナシ。一物モナシノ義ヲ表ス物ノ名ニハ。No ナ具ス

1 No one has yet reached the North Pole. (一人も未だ北極に達したる者なし)

2 A broad, open plain, offering no advantages to either party, was the field of fight. (戦場は彼我俱に一利^{〇〇}〔他ノ一利ノ義〕もなき一大曠野なり)

(註) No ハ常ニ單數或ハ複數ノ名詞ニ直接ニ具スルモノナリ但々近代ノ英語ニ於テハ no ハ one ノ反對トシテ獨リ單數名詞ニ具シ none ハ all ノ反對トシテ獨リ複數名詞ニ具セリ而シテ第一例ノ場合ノ no ハ a ……not (一……モナシ)ノ義ナリトス

(二) 何人モナイ。何物モナイノ義ヲ表ス物ノ名ニハ。None ナ具ス

1 None were permitted to enter by this gate. (何人

でも此門に入るとは許されない)

② Thou shalt have none assurance of thy life. (汝は汝の生命に就ては何の保証とも有せざるべし)

(註) None モ單數或ハ複數ノ名詞ニ具スト雖モ第一例ニ於ケル如ク名詞ヲ略スルキニ具スルナリ而シテ此場合ノ none ハ all men...not (誰モ...セヌ)ノ義ナリトス又第二例ニ於ケル如ク名詞ニ直接ニ具スルハ古式ニ出ヅルモノニシテ此場合ノ名詞ハ率テ母音ヲ以テ始マル名詞ナリトス

第二篇

固有名詞ニ關スル冠詞

第六章 固有名詞ノ單數ニハ冠詞ヲ具セズ

① Tokugawa Iyeyasu was born at Okazaki in Mikawa. (徳川家康は三河の岡崎に於て生れたり)

② Napoleon went to Egypt with forty sail-of-the-line.

(奈破翁ハ四十艘の艦隊ヲ以テ埃及に進めり)

(註) 本章ノ如キハ固有名詞ニ關スル冠詞ノ通則ト爲スモノナリ何ントナレハ固有名詞ガ特別ノ意味ヲ有スルカ若クハ特別ノ場合ニ際スルキハ冠詞ヲ具スルコトアレバナリ本書第十一。廿一。廿七。廿八章等ヲ參照スベシ凡ソ文典ノ法則ハ悉ク絶對的ニ使用スベキモノニアラズシテ多クハ之ニ例外アリテ特別ニ使用セザルヲ得ザルモノナリ是レ文法ノ起ル所以ナリ故ニ之ヲ學ブニモ善ク注意スベキモノトス

第七章 固有名詞ノ複數ニハ定冠詞ヲ具ス

① The Delawares and the Cherokees are Indians almost civilized. (でらうゑや及びちゑるき一等の如きは印度人の尤も開化したる者なり)

② I met one of the Miss Browns walking with the Mr. Robinsons. (私はろびんうん氏等と共に漫遊せるぶらうん嬢等の一人に出會いました)

③ The Misses William sang and played, and Messrs. Park conducted a charade. (ういりあむさん等が歌つて弾きさすどばーく君等が謎と解き合いました)

(註) 會話或ハ雜記ノ文ニ於テハ多ク第二例及ビ第三例ノ法ヲ用ユルモノニシテ必ズ Mr. 及ビ Miss 或ハ Messrs. 及ビ Misses ナル副名ヲ本名ニ冠スルモノトス而シテ複數形ノ s ヲ附スルニハ第二例ノ如ク本名ニ附スルモ第三例ノ如ク副名ニ附スルモ隨意ナリトス然レモ本名ガ領格ト爲リテ領格記號ナル 's ナ有スル場合ニハ複數形ノ s ヲ副名ニ附セザルベカラズ

1 There were the Mrs. Williamson's compliments. (5
いりあひるん氏等の訪問ありたり)

又第二例ノ場合ニ於テ本名ノ語尾ガ d 或ハ t ニシテ複數形ノ s ヲ認メ難キハ略字點ヲ附ス

2 The Miss Richard's came and spent the day with us
(りちやーぞさん等が来て一緒に終日暮しました)

又本名ノ語尾ガ s ニシテ複數形ノ s ナ附シ難キハ獨リ略字點ノミヲ附ス

3 The Miss Holms' were not present. (ほーむさん等は出席して居りません)

第八章 領格ノ固有名詞ニ先ダ、ル、名詞ニハ。冠詞ヲ具セズ

He had henry's bonnet in his hand. (彼はヘンリーの帽ヲ

持てり)

(註) 凡ソ領格ノ名詞ハ冠詞ニ伴シキ説明ノ力ヲ有スルモノナリ

第九章 固有名詞ノ前ニ。注意ヲ喚起スル形容詞アリテ。其人ノ特殊ノ事態ニ遭遇シタルカ。或ハ其人ノ特殊ノ性質ヲ有セルヲ表スルハ。定冠詞ヲ具ス

1 The wretched Kutsugen was hurried off to Kōnan.
(^{ワレイ} ^カ 騒に離れる屈原は江南に放流せらる)

2 The crafty Lewis was caught in his own trap. (誘
詐あるろーういずは自から其陷阱に陥れり)

然レモ Poor, old, young, little 等ノ形容詞ガ固有名詞ノ前ニ來ルルハ。定冠詞ヲ具セズ

3 Poor old Ned had no hair on his head. (憐れなる老年のネッドには頭に髪が一本もない)

4 Poor little Ben is very ill. (憐れなる弱年のベンは甚だ病めり)

又形容詞ガ副名ト爲ルルモ亦定冠詞ヲ具セザルモノトナ

5 Good Queen Bess. (ぐッド クイーン ベス)

6 Sweet Emma Morland. (すういーど ゑんま もーらんど)

然レモ honorable ト reverend トガ副名ト爲ルルハ。定冠詞ヲ具ス

7 An oration was delivered by the Honorable Rufus Choate. (演説がそのれーぶる ちふあす ちーどに辨せられたり)

8 The sermon of the Reverend Doctor Smith was eloquent. (れべれんど ぞくたー すみず の説教は能辨なりき)

第十章 自己ノ未ダ詳カナラザル人ノ名ヲ。人ニ話シ聞カシムルルハ。不定冠詞ヲ具ス

1 He married a Miss Hana, the daughter of a Yokohama merchant. (彼は横濱の商人の娘でひはなとあ云ふ者と娶りました)

又先方ノ未ダ聞カザル人ノ名ヲ。人ニ話シ聞カシムルルモ。不定冠詞ヲ具ス

2 My teacher is a Mr. Rojd an Englishman. (私の教師は英國人のろいど氏と云ふ者でございます)

(註) 此場合ノ a ハ a certain ト同義ニシテと云ふ者ト譯スベキナリ而シテ此固有名詞ハ聽ク者ヲシテ一個ノ名詞ト思ハシムルマデナレバ其後ニ必ズ同格句ヲ用ヒテ説明ヲ加フト雖モ其人物ノ何如ニ至リテハ終ニ兩者ノ間ニ明カニスルヲ能ハザルモノナリ何ントナレバはな又ハろいどト云ヘル名ハ他ニモ數多アリテ既ニ普通名詞ニ變ジタレバナリ故ニ a Miss Hana ハ a woman named Miss Hana ト均シキ義ナリトス

第十一章 親密ナル談話ニ於テ。Fool, idiot, ass, darling, duch, vixen, goose ノ後ニ of ナル前置詞ヲ伴ヘル句ニ先ダ、レタル固有名詞ニハ。不定冠詞ヲ具ス

1 That fool of a Tarō has forgotten to bring my groves. (太郎の馬鹿は手袋と持て来るのを忘れてしまった)

2 You darling of a Jirō! How kind in you to bring me the hat! (可愛い次郎や。帽子と持て来て呉て難有い)

な)

又普通名詞ニ於ケルモ。此法ヲ使用ス

3 My idiot of a servant mislaid the letter. (召使の馬鹿は夫の手紙を置き忘れた)

4 What a duch of a bonnet you have got! Where did you buy it? (大層好い帽子が御手に入りましたな。何處で其れを御買いなさつたら)

第十二章 固有名詞ニ不定冠詞ヲ具シテ普通名詞ト爲スルハ。二義ヲ有ス。一ハ名家ノ支流タル一人ヲ表シ。一ハ有名ナル人或ハ場所ノ性質ヲ表ス

1 Tokugawa Iyeyasu was a Nitta. (徳川家康は新田家の後裔なり)

2 Charles X. was a true Bourbon. (チャールズ十世は眞のボルボン家の一人なり)

3 Nakaye Tōjiyu is a Confucius of Ōmi. (中江藤樹は近江聖人なり)

4 Wordsworth is a Milton. (ワーズワースは詩人なり)

5 This is a Athens. (此處は文化の地なり)

又定冠詞ヲ具スルモ亦此法ニ依ル者トス

6 Lincoln is the Washington of the nineteenth century. (リンカーンは第十九世紀のワシントンなり)

(註) 第一。第二例ハ名家ノ支流ヲ表シ第三例ノ孔子ハ聖人ナリ故ニ道德ノ高キ人ヲ稱シテ He is a Confucius. (彼は孔子なり)ト云フハ猶 He is a saint like Confucius. (彼は孔子の如き聖人なり)ト曰フガ如ク又第四例ノみるどんハ詩人ナリ故ニ詩才ニ富ミタル人ヲ稱シテ He is a Milton. (彼はみるどんなり)ト云フハ猶 He is a poet like Milton. (彼はみるどんの如き詩人なり)ト曰フガ如シ是レ其人ノ性質ヲ表シ第五例ノあせんずハ希臘ノ一都府ニシテ夙ニ開化シタル場所ナリ故ニ文化ノ地ヲ稱シテ This is a Athens. (此處はあせんずなり)ト云フハ猶 This is a place of culture like Athens. (此處はあせんずの如き文化の地なり)ト曰フガ如シ是レ場所ノ性質ヲ表スモノナリ

第十三章 諱名或ハ爵名トシテ用ヒタル補充名詞(Complement noun)ノ前ニハ冠詞ヲ具セズ

1 He is styled Marquis. (彼は侯爵と稱せらる)

2 Tom is called donkey of his slowness. (トムは遅鈍)

なるが故に馬鹿と呼ばる)

然レモ Emperor 或ハ Empress ナル尊稱或ハ諱名ガ。本名ニ伴フキハ。定冠詞ヲ具ス

③ The Emperor Joseph II. was in Paris in the reign of Louis XVI. (じよせふ王二世はるい十六世の治世中ばりすに居れり)

④ William the Conqueror. (ういりあむじやう こんけらー)

(註) 第一例ニ於ケル Marquis ニハ冠詞ナシト雖モ若シ之ニ本名ヲ伴ハシムルキハ定冠詞ヲ具スルモノトス第三例ニ於ケルガ如ク然レモ固ト爵名ト人名トノ間ニハ of ナル前置詞ヲ置キ而シテ爵名ニ定冠詞ヲ具シ The Emperor of Joseph II. ト爲スヲ以テ正式ニ合スルモノトス第三例ノ如キハ of ヲ省ケルモノナリ然レモ習慣上ニテハ此法ニ合セザルモノアリ Queen Victoria, Queen Emma, Queen Elizabeth, Queen Anne, Earl Godwin ノ如キハ決シテ冠詞ヲ具セザルモ The Emperor Eugenie, the Empress Catherine II., the Emperor Alexander II. ノ如キハ必ズ定冠詞ヲ具セリ然レモ是亦略式ナレバ冠詞ヲ具スベキナリ

又詞ヲ詞トシテ用ヒタル名詞ニハ。冠詞ヲ

具セズ

⑤ Acorn is derived from ac, oak, and corn, grain. (アコーンハアークなるあく及びぐれーんなるコーンより由來せり)

第十四章 單獨ナル山ノ名ニハ。冠詞ヲ具

セズ

① Clad in a robe of everlasting snow, Mount Fuji towers above all other mountain peaks of the East. (萬古不滅の雪衣と被れる富士山は盪として東洋萬峯の表に出づ)

② Mount Ararat. (あらゝつと山)

然レモ山脈ノ名ニハ。定冠詞ヲ具ス

③ The Alps are the greatest mountain system in Europe. (あるぶす嶺は歐羅巴に於ける最大なる山脈あり)

④ The Pyrenees. (びれにーす嶺)

(註) 富士トあらゝつとトハ單數ノ固有名詞ニシテ特立ノ意ナレモあるぶすトびれにーすトハ複數ノ固有名詞ニシテ連續ノ義ナレバ定冠詞ヲ具ス凡ソ地名ハ其意義ニ於テ複數ナレバ冠詞ヲ具スルモ若シ原ト複數ノ詞ニシテ今其名ノミヲ留ムルモノニハ冠詞ヲ具セザル

モノトス Athens 及ビ Thebes ノ如キハ希臘語ニ於テハ
ハ複數ナルモ今其意義ニ於テ然ラザレバ亦冠詞ヲ具セ
ズ唯 The Cobbler, the Maladetta, the Jungfrau, the Mat-
terform ハ例外ナリトス

第十五章 河海。大洋。海峡。地峽及ビ山路 ノ名ニハ。定冠詞ヲ具ス

1 The river which flows through Tōkyo is called the
Sumida river. (東京と貫流する所の河と隅田川と稱す)

2 The Nile. (あいる河)

3 The Red Sea. (紅海)

4 The Pacific. (太平洋)

5 The Gibraltar. (さじぶらるたる峽)

6 The Panama. (さばなま峽)

(註) 此數者ハ皆複數ノ固有名詞ニ屬スルモノトス

第十六章 岬名ハ。其前ニ cape ヲ略スルキ ハ。定冠詞ヲ具ス

1 The Omaizaki. (御前崎)

又 cape ヲ用ユルキハ。定冠詞ヲ具セズ

2 Cape Cod. (けーぶ こつど)

然レモ of ナル前置詞ガ cape ト岬名トヲ連

結スルキハ。定冠詞ヲ具ス

3 The cape of Good Hope. (喜望峯)

第十七章 群島。聯邦ノ名ニハ。定冠詞ヲ 具ス

1 The Sandwich Islands. (さんどらいつち群島)

2 The United States. (合衆聯邦)

(註) 此二者ハ複數ノ固有名詞ナレバ定冠詞ヲ具ス
ト雖モ若シ單獨ナル一島或ハ一州ヲ表スルハ決シテ之
ヲ具セズ

第十八章 單獨ナル場所ヲ表ス固有名詞 ニシテ。of ナル前置詞ト普通名詞トヨリ成レ ル者ニハ。定冠詞ヲ具ス

1 The Bay of Biscay. (びすけー灣)

2 The Mount of Olives. (をりべす山)

3 The Lake of Woods. (うーづ湖)

(註) 凡ソ地理學上ノ名稱ニシテ of ナル前置詞ヲ
以テ固有名詞ト普通名詞トヲ聯結スルモノニハ定冠詞
ヲ具スルモノトス

第十九章 官立或ハ共同ニ屬シ。或ハ有名

ナル寺社。公園。公會。劇場等ノ公衆ノ集ル建
物或ハ場所ノ名ニハ。定冠詞ヲ具ス

- 1 The Shōkonsha. (招魂社)
- 2 The Uyeno-kōyēn. (上野公園)
- 3 The Monbushō. (文部省)
- 4 The Criterion. (さくりにてん)
- 5 The Gokokuji. (護國寺)
- 6 The Lyceum. (さいせむ)
- 7 The Gakushikaiin. (學士會院)

(註) 此數者ハ何レモ對話ト書信ノ表書トニ用ユル
ルハ the ヲ具セズ Criterion ハ倫敦ノ割烹店ニシテ
Lyceum ハ演劇場ナリ

第二十章 衆人ノ熟知スル街道ノ名ニハ。
定冠詞ヲ具ス

- 1 The Nihoubashi-dōri. (日本橋通)
- 2 The Tōkaidō. (東海道)

第二十一章 一都會ノ名ニハ。定冠詞ヲ具
ス

- 1 The Hague. (さへーげ)

(註) 此場合ノ都會ハ一國唯一ノ者ニ限ルモノトス

Holland ノ Hague ニ於ケルガ如シ

第二十二章 人口ニ膾炙セルカ。或ハ歴史
上ニ著名ナルカ。或ハ風景ニ勝レタル土地ノ
名ニハ。定冠詞ヲ具ス

- 1 The Asakusa. (淺草)
- 2 The Okchazama. (桶峽)
- 3 The Nikkō. (日光)
- 4 The Sahara. (さはら)
- 5 The Campagna. (さむばぐな)
- 6 The Carnatic. (さゝーなりつく)

第二十三章 固有名詞ヨリ由來シタル建
物ノ名ニハ。定冠詞ヲ具セズ

- 1 St. Paul's Cathedral. (せんとぼーるていせせら
る)

然レモ固有名詞ヨリ由來セザレバ之ヲ具
ス

- 2 The Grand Hotel. (さぐらんどほてる)

(註) Grand ハ形容詞ヨリ由來セルモノナリ

第二十四章 船ノ名ニハ定冠詞ヲ具ス

1 The Matsushima-kan was at anchor in Shinagawa.
(松島艦が品川に碇泊せり)

2 The Fulton went up the river this morning. (ふる
どんが今朝此河を溯れり)

(註) 第一例ノ in Shinagawa ハ in the sea of Shi-
magawa ノ義ニシテ第二例ノ Fulton ハ端艇ノ名ナリ

第二十五章 病名ニテ疱瘡。麻疹等ノ如キ
他ニ種類ノナキ病ニハ。定冠詞ヲ具シ。而シ
テ之ヲ総名ニ爲スルハ之ヲ具セズ

1 John has (the) Small Pox. (じよんが疱瘡ト爲て
居る)

又熱病。頭痛等ノ如キ他ニ種類ノアル病ニ
ハ。定冠詞若クハ不定冠詞ヲ具シ。或ハ冠詞
ヲ具セズ

2 Kiyomori has (the, a) Fierce Fever. (清盛ノ疾
熱)

(註) 第一例ノ如キ他ニ種類ノナキ病ニハ冠詞ヲ具
スルモ具セザルモ其名詞ニ單複ノ變化ヲ爲ササルハ是
レ病名ノ冠詞ニハ一種特異ノ用法アルニ由リテナリ又
二例ノ如ク他ニ種類ノアル病ニハ定冠詞ヲ具スルハ

ハ當時流行ノ熱病ナルヲ示シ不定冠詞ヲ具スルハ數
多アル熱病ノ中一種ノ熱病ナルヲ示シ又冠詞ヲ具セザ
ルハ他ノ病ニアラズ熱病ナルヲ示スナリ

第二十六章 一個ノ固有名詞ニ。二個以上
ノ同格名詞ヲ聯結スルハ。其第一ノ同格名
詞ニノミ定冠詞ヲ具ス

1 Washington, the soldier and statesman, was born in
Virginia. (兵士にして政治家なるわしんどんはびるじ
にあに生れたり)

又同格名詞ニアラザル場合ニ於テモ。亦此
法ヲ使用ス

2 The poet and historian was Sanyō. (詩人にして史
家なるは山陽なり)

然レモ其名詞ガ比較サル、ハ。各ノ名詞
ニ定冠詞ヲ具ス

3 We admire the energy, but not the ambition, of
Napoleon. (余は拿破翁ノ氣力は贊するも大望は贊せぬ)

第二十七章 一家ノ主長トシテ表シタル
固有名詞ニハ定冠詞ヲ具ス

Darest thou then,

To beard the lion in the den,

The Douglas in his hall? (汝は其室中に在るどぐらす
即ち洞中に在る獅子と謂ふべき人に抗するを敢て爲す
や)

第二十八章 人民。宗徒。姓氏ノ名ヲ悉ク
舉ゲテ言フルハ。定冠詞ヲ具ス

1 The Nipponese are a brave people. (日本人は勇敢
なる人民なり)

2 The condition of the Christians was deplorable. (耶
蘇宗徒の状態は憫むべし)

3 He is not the Mr. Suzuki that I know. (彼は余の
知る鈴木氏にあらず)

(註) 此場合 = 於ケル固有名詞ハ複數ノ義ナレバ既
ニ普通名詞ニ變ゼシモノナリ

第三篇

普通名詞ニ關スル冠詞

第二十九章 普通名詞ノ單數ガ物ノ總名
ト爲リテ。其種類ノ全體ヲ表スルハ。不定冠
詞ヲ具ス

1 A horse is used for drawing, carrying, bearing a
rider. (馬は乗者ト牽き運び荷はしむるに使用す)

然レモ劃然一個或ハ一部ヲ限定シテ言フ
ルハ。定冠詞ヲ具ス

2 The boy stood on the burning deck. (小兒が燃る
所の甲板に立てり)

又動物或ハ植物ヲ記スルノ文ニシテ。其文
中ニ animal, plant 或ハ thing 等ノ如キ。總名ヲ指
示スル詞ノアルハ。定冠詞ヲ具ス

3 The potato is a native plant of America. (馬鈴薯と
云ふ者は亞米利加産出の植物なり)

4 The horse is a useful animal (thing). (馬と云ふ者
は有用なる動物なり)

又 man ト woman トノ二者ハ。例外ニシテ冠

詞ヲ具セザルモノトス

5 Man is the lord of all creation. (人は萬物の靈あり)

6 Woman ruled man. (女と云ふ者は男と支配するものだ)

(註) 不定冠詞ノ文法上緊要ノ點ハ名詞ノ單數タルヲ表ス=在ルヨリ轉ジテ渾然タル一個ノ意ト爲ルガ故ニ第一例ノ horse ノ如キ普通名詞ノ單數ニハ必ズ不定冠詞ヲ具シテ其總名ト爲スナリ然レモ第二例ノ如キハ總名ノ義ヲ失ヒタレバ the ヲ具ス又第三例及ビ第四例ニ於ケルガ如ク單數ノ普通名詞ニ定冠詞ヲ具シテ總名ト爲スハ常法ニアラズシテ全ク動物、植物ヲ記スルノ外ニハ甚ダ稀ニシテ此場合ノ the ハ all kind of ヲ意味スルモノトス又第五例及ビ第六例ニ於ケルガ如ク冠詞ヲ具セザルハ語勢ヲ強ムルト意義ヲ擴ムルトニ由リテナリ而シテ此場合ノ man 及ビ woman ノ如キハ All men, all women. 或ハ All mankind ト伴シキモノトス

第三十章 複數ノ普通名詞ガ物ノ總名ト爲リテ。其種類ノ全體ヲ表スルハ。冠詞ヲ具セズ

1 Kings are men of high renown. (王とは高名の人なり)

2 I like children. (私は小供を好みます)

然レモ劃然限定シテ之ヲ言フキハ。定冠詞ヲ具ス

3 The Turkish Empire stretches over the two continents of Europe and Asia. (土耳其帝國は歐羅巴と亞細亞の兩大陸に跨れり)

4 The creaking of the masts was frightful. (檣の鳴る音は恐しありき)

又動物或ハ植物ヲ記スルニ至リテハ單數ノ普通名詞ニ同シク定冠詞ヲ具ス

5 The lions are the lords of all beasts. (獅は群獸の王なり)

6 The plums and the cherries both bloomed early this year. (梅も櫻も今年は早く咲きました)

(註) 第一例ノ kings 及ビ第二例ノ children ハ何ノ王トモ誰ノ子トモ定メテハ之ヲ言ハズ漠然王及ビ子ノ總名ニ用ヒクリト雖モ第三例ノ continents ト第四例ノ masts トハ劃然限定シタレバ既ニ總名ノ義ヲ失ヒ...

モノナリ故ニ定冠詞ヲ具ス又第五例ノ lions 及ビ第六例ノ plums 及ビ cherries = 至リテハ所謂動物。植物ノ總名ヲ記スルニ限レル例外ナリトス

第三十一章 普通名詞ノ單數ニハ。不定冠詞ヲ畧シテ其語勢ヲ強フシ。或ハ其意義ヲ擴ム

1 The earth is covered thick with other clay. (粘土相因テ地球を爲す)

2 War has both glory and darkness. (戰爭ニ榮光有リ暗黒)

(註) 凡ソ冠詞ノ普通名詞ニ於ケルヤ其文章ノ簡短ヲ要スルカ若クハ語勢ヲ強ムルカ或ハ廣キ意義ヲ取ルキハ率テ之ヲ略シテ具セザルモノトス

第三十二章 領格ノ普通名詞ニ先ダ、レタル名詞ニハ。冠詞ヲ具セズ

1 He had a boy's bonnet in his hand. (彼は小供の帽ヲ持てり)

2 This is the woodman's hut. (此は樵者ノ小屋なり)

(註) A boy's ノ a ト the woodman's ノ the トハ固ト此名詞ニ具シ來リタルモノニシテ bonnet ト hut トニハ關セザルモノナリ斯ク領格名詞ガ冠詞ヲ有スル

キハ之ヲ名詞トセンヨリハ寧ロ形容詞トスベシ

第三十三章 自然ニ連續スル單數ノ普通名詞ニシテ。文法上同一ノ關係ヲ有スル者。二個以上連續スルキハ。定冠詞ヲ具セズ

1 Cromwell trampled down king, church, and aristocracy. (Cromwell 國王ヲ踏ミ潰シ、教會、貴族ヲ踏ミ潰シ)

2 Landlord and tenant disputed each other. (地主ト小作人トは互ニ争へり)

(註) 此場合ノ名詞ハ單數ナルモ複數ノ意ヲ表ハシ且ツ互ニ相ヒ關係スル所ノ意義ヲ有シテ宛然其間ニ both ナル詞ノ略セルガ如キノ思アルモノトス

第三十四章 複數ノ普通名詞ノ意義ガ單一ナルキハ。不定冠詞ヲ具ス

1 I have passed an agreeable two hours. (余は愉快なる二時間を経たり)

2 A wretched five days were spent in this frightful place. (此恐しき場所にて困難ある五日を消せり)

(註) 時日ノ數ヨリ言ヘバ二時間或ハ五日ナレバ複數ノ名詞ナルモ其愉快ナル時或ハ困難ナル日ト云フ點ヨリ之ヲ見レバ單數ノ意義ナリ故ニ不定冠詞ヲ具ス

第三十五章 語勢ヲ強メンガ爲メ。複數ノ普通名詞ノ代リニ。單數ノ普通名詞ヲ用ユルキハ。冠詞ヲ具セズ

Bird and beast had retired to rest. (鳥と獸とが息はんが爲めに屏けり)

(註) 複數ノ普通名詞ガ總名ヲ表スルハ必ズ定冠詞ヲ具セズト雖モ單數ノ普通名詞ガ總名ヲ表スルハ必ズ定冠詞ヲ具ス茲ニ單數ノ名詞ヲ用ヒテ複數ノ意義ヲ取ラシメ而シテ冠詞ヲ具セザルハ是レ單數ノ普通名詞ガ複數ノ普通名詞ニ代リテ語勢ヲ強ムル所以ナリ若シ bird and beast 一語ト爲シテ之ヲ解セントセバ本書第五十六章ヲ參照スベシ

第三十六章 詩律ニ於テハ。意義ヲ強メンガ爲メニ。定冠詞ヲ具シタル單數名詞ヲ複數名詞トシテ使用ス

The burning of the infidel was a sacrifice acceptable to heaven. (他心を絶つは天意に合ふの牲なり)

第三十七章 Sun, moon, tide, world, heaven, sea, earth, sky, equator, universe ノ如キ天然無ニノ物ノ全体ヲ表ス普通名詞ニハ。定冠詞ヲ具ス

1 The sun is rising. (日が出て來た)

2 The tide is ebbing. (汐が涸て來た)

然レモ earth ト sea トガ。at, in, on ナル前置詞ニ先ダ、ル、キハ。定冠詞ヲ具セザルコトアリ

3 What on earth are you doing. (汝等は何の爲めに暮せるや)

4 There is something peculiarly melancholy and impressive in a burial at sea. (抑も海中の墓塋に於ては特に悲泣感激すべきの事もあり)

又 heaven ト earth トヲ爲人名詞ニ用ユルキハ。冠詞ヲ具セズ

5 Titans who were born between Heaven and Earth (宇宙の間に生れたる太丹)

又 sea ト sky トガ。一種ノ光景ヲ表スルキハ。不定冠詞ヲ具ス

6 He never handed an oar but on a calm sea. (彼は平穩なる海の外は決して棹を執らず)

7 A cloudy sky is not always a forerunner of storm. (曇天は常に風雨の前兆にあらず)

第三十八章 時間。重量。尺度等ヲ算フル

其標準ト爲ス名詞ニハ。不定冠詞ヲ具ス

- 1 Sixteen miles an hour. (一時間に十六哩)
- 2 Two cents a glass. (一杯二銭)
- 3 A shilling an ounce. (一をんすーしるりんぐづい)
- 4 Three times a week. (毎週三時)

(註) 此場合ノ a 若クハ an ハ each, every 或ハ商語 per ノ義トナスすいんどん氏ハ之ヲ以テ冠詞ト爲サズ其次ニ來ル所ノ名詞ト合シテ副詞句ト爲ス是レ a 或ハ an ハ on ノ義ナレバナリト

第三十九章 兩個ノ賓格名詞ガ。同一ノ主格ニ屬スルキハ。前者ノ名詞ニノニ冠詞ヲ具ス

1 Shakespeare is a greater poet than actor. (しえーくすびーやは大ある役者と曰はんよりは大なる詩人と謂ふべし)

然レモ別種ノ主格ニ屬スルキハ。兩者ノ名詞ニ冠詞ヲ具ス

2 Shakespeare is a greater poet than a actor. (しえーくすびーやは大ある詩人にして役者にあらず)

(註) 第一例ハ同一ノ人ニ就テ其人ノ性質ノ異ナル

ヲ云ヒ shakespeare ナル主格ハ兩個ノ名詞ニ屬シ第二例ハ別種ノ人ナルヲ云ヒ shakespeare ハ前者ノ名詞一個ニ屬スルモノナリ

第四十章 食事ノ名及ビ食物トシテ記スル所ノ物品ノ名ニハ。冠詞ヲ具セズ

1 I go to study immediately after breakfast. (朝飯が済めば直に勉強に掛る)

2 They go back about two o'clock and had cake and coffee for tea. (彼等は二時頃に歸りて菓子と食し茶の代りに珈琲を飲みました)

3 I am fonder of pheasant than of quail. (私は鶉より雉と嗜みます)

然レモ特別ニ之ヲ言フキ。或ハ文章ノ意義ガ連続スルキニハ。冠詞ヲ具ス

4 I have taken an excellent supper. (結構な夕飯と歎きました)

5 While the dinner was going on, he brought fine grapes. (晝飯中に彼は良き葡萄を持來せり)

第四十一章 四季ノ名ニハ。定冠詞ヲ具シ。或ハ之ヲ具セズ

- 1 Spring is coming. (春が来た)
- 2 I longed for the spring. (私は春を待て居ました)
- 3 Cholera so often breaks out in summer. (夏になると虎列刺が發りてきます)
- 4 The summer was over. (夏が去つた)
- 5 In the spring of 1493, letters were received from Christopher Columbus, announcing his return to Spain. (一千四百九十三年の春くりすどふあーころんぶすより歸國を報ずる所の書翰が西班牙に到着せり)

(註) 第二例及ビ第四例ヲ定冠詞ノ定則ヨリ論ズレバ冠詞ヲ具セザルベキニ四季ノ名ハ習慣上ヨリ此定則ヲ破ルモノナリ然レモ第五例ノ如ク何年ノト之ヲ限定シテ言フキハ必ず定冠詞ヲ具ス

第四十二章 Morning, 'night, evening, forenoon, afternoon, light, dark ナル普通名詞ニハ。定冠詞ヲ具ス

- 1 The mornings and evenings are cool now. (當節朝夕は寒冷でございます)
- 2 The owl can see more in the dark than in the light. (鴞は明るき所より暗き所の方が能く見へる)

然レモ七曜ノ名ニ先ダ、ル、キハ。定冠詞ヲ具セズ

- 3 He came on Monday night, and left early on the morning of Tuesday. (彼は月曜日の夜に来て火曜日の朝早く歸りました)

第四十三章 其ノ月ノ日ヲ表スキハ。定冠詞ヲ具ス

- 1 The third of November is the happy day of His Imperial Majesty's birth. (十一月三日は天皇陛下の御誕生遊ばされし吉日あり)

- 2 On the 4th of July, 1776, the Continental congress adopted the Declaration of Independence. (一千七百七十六年七月四日に大陸會議は獨立の布告を採用せり)

第四十四章 Train, steamer, coach, jinrikisha, horseback 等ノ如キ。運轉ノ義ヲ表ス名詞ニハ。定冠詞ヲ具セズ

- 1 I went by steamer to Sanuki. (私は汽船にて讃岐まで行きました)
- 2 I went by train to Yokohama, and from thence on horseback to Sugita. (私は蒸車で横濱まで行き其より騎)

馬で杉田まで行きました)

(註) Horseback ハ抽象名詞ニシテ on horseback ナル句ヲ成セルモノトス

第四十五章 職務或ハ地位ヲ表ス名詞ニハ冠詞ヲ具セズ

1 He had served as teacher in the same school for ten years. (彼ハ十年間一學校の教員を勤めり)

2 William Tomson is president of the Royal Society of Edinburgh. (ウィリアム・トムソンはエジンボロの學士會院長なり)

第四十六章 親族ヲ表ス名詞ニハ冠詞ヲ具セズ

The bell rung; I am sure aunt is there, and perhaps uncle too. (鈴が鳴つたゝら急度伯母は來たのだが殊に寄れば伯父も來たのだ)

(註) Brother, sister ノ二者ハ英國ニ於テハ常ニ此法ヲ使用スト雖モ英國ニテハ Brother John, Sister Ellen ノ如ク耶宗ノ名ニ加ヘズシテ使用スルヲ稀ナリ

第四十七章 學藝。技術ノ名ニハ冠詞ヲ具セズ

1 History impresses general truths on the mind by a vivid representation of particular characters and incidents. (歴史なる者は偉人異跡の活況を記して其心に感ずる一般の事實を述ぶるものなり)

2 Composition is the art of writing correctly. (作文とは正しく書記するの術なり)

(註) 學藝及ビ技術ノ名ハ抽象名詞ナリ故ニ本書第六十八章ニ據レバ冠詞ヲ具スルヲ得ベシ

The history of the antagonism between Celt and Teuton is nearly, if not quite, as old as the history of Christianity. (せると人としゆーとん人との戦闘史は耶蘇教の歴史と全く其始と同ふせざるも殆んど同時にあり)

第四十八章 方位ノ名及ビ right, left ナル名詞ニハ定冠詞ヲ具ス

1 The sun will rise in the east, and set in the west. (日は東に上りて西に没するならん)

2 I missed my way by turning to the right instead of to the left. (左すべきに右したるを以て方向ヲ錯れり)

然レモ詩律ニ於テハ之ヲ具セズ

3 Cannon to right of them, cannon to left of them.

(海軍大臣、陸軍大臣、中、中、中)

第四十九章 二個以上ノ主格名詞ガ。同人ヲ表スルハ前者ノ名詞ニシテ定冠詞ヲ具ス。又別人ヲ表スルハ各ノ名詞ニ定冠詞ヲ具ス

1 The admiral and marshal was present. (海軍大臣兼陸軍大臣は出席せり)

2 The admiral and the marshal were both present. (海軍大臣並に陸軍大臣は出席せり)

(註) 第一例ハ一人ヲ表シ第二例ハ二人ヲ表セリ此場合ニ定冠詞ノミヲ用ユルハ海軍大臣モ陸軍大臣モ一國一人ト限リタレバナリ

第五十章 廣告。揭示。目錄及ビ諸種ノ記載物ノ名ニハ。冠詞ヲ具セズ

1 House to Let
With floor-mats, and articles such as screens,
doors, &c.

(屋敷求む)

(出札)

2 Entrance. (入口)

3 Ticket office. (出札所)

4 Preface. (序)

5 Life of Clive. (クライブの傳)

6 Contents. (目錄)

7 Mistory of England. (英國史)

第五十一章 全ク名詞トシテ用ヒタル分詞ニハ。定冠詞ヲ具ス

1 You can get salmon here for the asking. (汝は願へば此處で鮭が得らる)

然レモ之ヲ賓格ニ置クキハ。冠詞ヲ具セズ

2 I dislike meeting him greatly. (私は彼に會ふのが大嫌いだ)

又之ヲ賓格ニ置クト雖モ。其後ニ of ヲ有スル句ノ來ルキハ。定冠詞ヲ具ス

3 Napoleon consented of the marching of the army.
(奈破翁は軍隊の進行を許せり)

(註) 分詞ハ目的ヲ支配スルノ力ヲ有セザルヲアルガ故ニ此例ノ marching ノ如キハ the ヲ具シテ純然タル名詞ト爲セリ)

第五十二章 一百以上ノ全數ヲ表ス數量名詞ニハ。其前ニ他ノ數量形容詞ヲ置カザル

※ハ。不定冠詞ヲ具ス

- 1 A hundred [of] men. (一百人)
- 2 The commander of one hundred men. (百人の長)
- 3 Two million of men. (二百万人)

(註) 一ヨリ九十九マデハ形容詞ニシテ一百以上ハ名詞ナリ故ニ冠詞ヲ具スルヲ得ベシ第一例ノ場合ニハ a ノ代リニ one ヲ用ユルモ妨グズ宛モ第二例ノ a ノ代リニ one ヲ用ユルガ如シ又第一例ハ俗語体ナレバ of ヲ略シ a hundred ヲ以テ形容詞ト爲シ men ヲ形容スベシト雖モ第三例ノ如ク million 以上ノ大數ニハ決シテ of ヲ略セザルモノトス

第五十三章 Some ヲ普通名詞ニ具シテ。物料名詞ト爲ス

Do you like some pudding? (汝は腸詰と好めるや)

(註) 此場合ノ some ハ幾分ノ義ニアラズシテ談話上意義ナク Do you like pudding? ト同ジキモノトス尙ホ本書第四十章ヲ参照スベシ

第五十四章 冠詞ハ省畧セル名詞ヲ表ス

1 He was a good man, and a just [man]. (彼は善人にして且つ正人なり)

2 The animal [world] and the vegetable world. (動物世界と植物世界)

第五十五章 呼格ノ名詞ニハ。冠詞ヲ具セズ

- 1 Depart from me, Ghost. (去れ人鬼よ)
- 2 Jinrikisha-man, take us to Asakusa. (腕車夫淺草まで遣て呉れ)

第五十六章 雙對名詞 (Correlative noun) ナ一句中ニ使用スルニハ。冠詞ヲ具セズ

- 1 Mother and child are doing well. (母子息災なり)
- 2 Both rich and poor have a common interest. (貧者富者俱に同一の利害あり)

(註) 雙對名詞トハ father and son, master and servant, husband and wife 等ノ如ク兩々雙對スル名詞ニシテ必ず and ナル接續詞ヲ以テ一句中ニ聯置スルモノナリ且ツ此名詞ハ必ず單數ノ普通名詞ニ限ルモノトス

第五十七章 定冠詞ハ分詞句或ハ形容句ノ前ニ來レル。完全ナル意義ヲ有スル單數名詞ニ具ス

1 The Athenians were not the man to be terrified by a tyrant's threats. (おせん人は壓制家の脅迫を恐るゝが如き人の種類にあらず)

2 Horatio was not the boy whom his uncle would have chosen to bring up in his own profession. (ほらちとは其伯父が己の職業と仕込まんと思つたやうな小供の種類にあらず)

(註) 此場合ノ the は the kind of 或ハ such a ノ義ヲ有スルモノナリ尙ホ本書第九十一章及ビ第百四十四章ヲ参照スベシ

第五十八章 主格名詞ト賓格名詞トガ同一ノ詞ニシテ。one...another ノ文体ヲ爲スルハ冠詞ヲ具セズ

So shape chased shape. (斯く形は形と追へり)

(註) 此場合ニ於テハ So one shape chased another (shape) ト爲スタ得ベシ且ツ此文體ノ助詞ハ必ズ追ふ若クハ續くノ義ヲ含メル者ナリ

第五十九章 一種類ノ中ニ包括スル各個ノ名詞ヲ分叙スルルハ定冠詞ヲ具ス

1 Nouns have four cases—the nominative, the possessive,

the objective, and the vocative. (名詞有ニ四格。曰主格。曰賓格。曰目的格。曰呼格。)

2 The first, the third, and the fifth child were my sons. (第一番と第三番と第五番の小供が私の息子であります)

第六十章 二個ノ主格名詞ヲ叙スルニ方リ。若シ其一個ノ名詞ガ冠詞ヲ具セザルキハ之ヲ起頭ニ置クモノトス

Mathematics and the clasics should both be studied as a mental disiplines. (數學と經學とは俱に心理學として學ぶべし)

(註) 此場合ニ The clasics and mathematics ト爲スベカラズ何フトナレバ若シ此ノ如ク爲スルハ the ガ mathematics ノ意義ヲモ共ニ限リテ mathematics ノ前ニハ the ヲ省略シタルモノト見做ザルヲ得ズ然レモ此ノ省略ハ不正ノ省略タルヲ免カレザレバ浪リニ爲スベカラズ本書第四十九章ヲ参照スベシ

第六十一章 單數ノ普通名詞ヲ以テ食物ノ原料タルベキ詞ト爲スルハ冠詞ヲ具セズ
I am fonder of pleasant than of quail. (私は鶉より雉)

と嗜みます)

(註) 鷄或ハ雉ト云フキハ普通名詞ナルモ此例ニ於ケルガ如ク食料ト爲スルハ物料名詞ニ變ジタルモノナリ而シテ之ヲ漠然使用シタルガ故ニ冠詞ヲ具セズ本書第六十七章ヲ參照スベシ

第六十二章 二個以上ノ賓格名詞ニシテ。公衆ニ現ハル、所ノ器量或ハ容貌ガ。其人一人ニ屬スルヲ表スルキハ。定冠詞ヲ具ス

As to degradation, it was not the earl, but the general and the statesman, whom the people had to fear. (若し伯にして貶せられなば其伯たるは失ふべしと雖ども其堪能なる將官たり執政たりとして衆人に畏敬せらるゝは依然たるべし)

第六十三章 Town (都會)ニ對スル country (地方)ニハ。定冠詞ヲ具ス

1 I shall take the butler with me, when I go into the country. (私は地方へ行くとき給事ヲ連れましよう)

2 Being destitute of arable land, it is a mere country of pasture. (耕すべき地に乏しくして牧場の一地方たるに過ぎず)

第六十四章 名詞ヲ名詞トシテヨリハ。寧ロ形容詞トシテ用ユルキハ。冠詞ヲ具セズ

They are not servants of the company. (彼等は會社の役員にあらず)

第六十五章 單數ノ普通名詞ヲ用ユベキニ。其意義ガ複數ナルキハ。殊ニ之ヲ複數ノ普通名詞ト爲シテ。不定冠詞ヲ具セズ

Bees live in hives. (蜜蜂が蜂巢に棲む)

(註) 此場合ニハ文法上 a hive ト爲スヲ得ザルモノトス

第六十六章 不定冠詞ヲ物料名詞ニ具スルキハ。其原料ヨリ造リタル器物ヲ表ス

1 A glass. (玻璃ヨリ造リタル^{コップ}鐘。鏡或ハ其他ノ者)

2 A paper. (新聞紙。文書等)

又抽象名詞ニ具スルキハ。其性質ノ現レタル事物ヲ表ス

3 A cruelty. (兇事)

4 A youth. (少年)

(註) 第一。第二例ノ a ハ a thing made of ノ義ト爲スベク而シテ物料名詞中 a ヲ具シテ器物ト爲スモノ

ハ此二者ニ限ルモノトス又第三。第四例ノ a ハ a thing of ノ義ト爲スベシ

物料名詞

第六十七章 物料名詞ガ物ノ總名ヲ表シテ。漠然何レノ部分ニモ關係セザルキハ。冠詞ヲ具セズ

1 Tobacco is a native plant of America. (煙草は亞米利加の土産なり)

然レモ若シ劃然其一部分ヲ示スキハ。定冠詞ヲ具ス

2 The cloth for the coat will cost seventy yens. (外套に爲る丈の羅紗は金七十圓に價するならん)

又漠然其一種類ヲ示スキハ。不定冠詞ヲ具ス

3 This is not a good paper for making book. (此は書物を作るに良き紙にあらず)

(註) 第一例ノ tobacco ハ物ノ總名ヲ表シテ漠然他ニ關係ナク之ヲ言ヘリ故ニ冠詞ヲ具セズト雖モ第二例ノ cloth ハ外套ニスル丈ノ羅紗ナリト劃然之ヲ限定シテ言ヘリ故ニ定冠詞ヲ具ス又第三例ノ paper ハ書物ヲ

作ル紙ニ種々良好ノ種類アリ而シテ此ハ其良好ノ一種類ナリト漫然之ヲ言ヘリ故ニ不定冠詞ヲ具ス斯ク物料名詞ニ冠詞ヲ具スルキハ既ニ普通名詞ニ變ジタルモノナリ

抽象名詞

第六十八章 抽象名詞ハ汎然一般ノ意義ニ用ユルキハ。冠詞ヲ具セズ

1 Dulness is ever apt to magnify. (怠惰は常に延び易し)

然レモ他ノ詞或ハ句ヲ以テ。劃然其意義ヲ限定スルキハ。定冠詞ヲ具ス

2 The dulness of that boy. (其子の怠惰)

又漠然其一種類ヲ示スキハ。不定冠詞ヲ具ス

3 The discovery of a truth is extremely useful in society. (真理ヲ發見するは極めて世に有益なり)

(註) 第一例ニ於ケル dulness ニハ其意義ヲ限ルノ詞或ハ句ナク汎然怠惰ト言ヘルヲ以テ冠詞ヲ具セズト雖モ第二例ノ dulness ニハ of that boy ノ句アリテ其子の怠惰ナリト劃然之ヲ限レルヲ以テ定冠詞ヲ具ス又

第三例ノ truth ハ一般ニ言フニアラズシテ數多ノ真理ノ中ヨリ一個ノ真理ト言ヘリ故ニ不定冠詞ヲ具ス斯ク抽象名詞ニモ冠詞ヲ具スルハ既ニ普通名詞ニ變ジタルモノナリ

集合名詞及衆多名詞

第六十九章 集合名詞ハ物料名詞及ビ抽象名詞ノ如ク。漠然之ヲ言フキハ冠詞ヲ具セズシテ。劃然之ヲ言フキハ定冠詞ヲ具スト雖モ。唯不定冠詞ハ之ニ具セザルモノトス

① Parliament was opened by the king. (王が國會を開きたり)

② The new government was a Consulate. (新政府とは公會政府なりき)

然レモ之ヲ爲人名詞トシテ用ユルハ。必ず冠詞ヲ具セザルモノトス

③ Government thinks so too. (政府も亦以て然りと爲す)

(註) 集合名詞ニハ society, parliament, government 等ノ如キハ習慣上冠詞ヲ具セザルヲアリト雖モ何ノ理

由ナクシテ具セザルニアラズ畢竟此三例ノ外ニ出デズ之ヲ學ブモノ善ク注意スベシ今集合名詞ヲ個々ニ考フキハ複數ノ如キ意義ト爲リテ衆多名詞 (Nouns of multitude) ニ變ズベシ然レモ其形ニ於テハ毫モ異ル所ナキヲ以テ此二詞ニ關シテハ大家ノ往々其黑白異同ヲ論ジテ止マザル所ナリト雖モ二詞ノ區別ヲ斷定スレバ左ノ如シ

集合名詞トハ著シク單一ナル一團體タルヲ想起セシメ且ツ其個人ガ必ズ一體ト爲リテ動作ヲ共ニスベキ者ナリ Army (軍隊), fleet (艦隊) 等ノ如シ

衆多名詞トハ著シク複雑セル一團體タルヲ想起セシメ且ツ其個人ガ必ズシモ一體ト爲リテ動作ヲ共ニセザル者ナリ People (人民), clergy (僧侶) 等ノ如シ而シテ衆多名詞ノ冠詞ニ於ケル關係ハ集合名詞ト異ルヲナシ

第四篇

代名詞ニ關スル冠詞

第七十章 領格代名詞ニ先ダ、レタル名詞ニハ。冠詞ヲ具セズ

Thou knowest my prize of nature most sincere. (汝は我が眞に自然を賛美することを知る)

(註) 領格代名詞ハ冠詞ニ伴シキ説明ノ力ヲ有スルモノナリ

第七十一章 領格代名詞ノ代リニ定冠詞ヲ使用ス

1 We see with the eyes, and hear with the ears. (吾人ハ目を以て見而して耳を以て聞く)

2 Man who have not bowed the knee to the image of Baal. (ばーるの像に其膝を屈めざりし人)

第七十二章 疑問代名詞ニ先ダ、レタル名詞ニハ。冠詞ヲ具セズ

1 Which way shall I take? (余は何れの方向を取らん)

2 Whichever plan I may take, he is likely to oppose it. (我は何れの策を取らば彼は之に抗するならん)

第七十三章 Some ヲ代名詞ノ代リニ使用ス

1 Will you have any tea? yes; please give me some.

(茶が御入用ですが。はい何卒少し計り下さい)

2 Have you the books? yes; I have some. (夫の書物と御所持です。はい所持しています)

又代名形容詞ニ使用スルキハ。一部分ヲ表ス

3 Some to shores do fly, some to the woods. (一部分は海濱に飛び一部分は山林に飛ぶ)

若シ之ヲ賓格ニ置クキハ。ofヲ伴ヒテ句ノ形ヲ爲ス

4 We consumed some of our provisions. (我は我が食糧の一部分を消費せり)

(註) 第一例及ビ第二例ノ some ハ代名詞ナルモ他ノ代名詞トハ異リテ物料名詞ニ代ルキハ單數名詞ヲ代表シ然ラザレバ複數名詞ヲ代表スルモノナリ

第七十四章 關係代名詞ノ前ニ來ル名詞ニハ。定冠詞ヲ具ス

1 Beavers make their homes in the rivers which flow through forests. (海狸は林を貫流する河中に巢を造る)

2 Each thought on the man who loved him. (誰も己を受せし人を思ふ)

③ This is not the book that I sent you for. (此は汝に求めたる書にあらず)

然レモ關係代名詞ノ後ニ。助動詞ノ來ルアリテ其名詞ガ殆ント或ル他ノ目的ニ使用サル、ガ如キ場合ニハ。不定冠詞ヲ具ス

④ I had a dream which was not all a dream. (余は全く夢にはあざりし夢と見たり)

第七十五章 Any ヲ關係代名詞トシテ使用ス

① Take any book that you like best. (汝が最も多く好む所の何書にても取れ)

② Any body who is tired may rest. (誰でも疲れたるものは休むべし)

(註) 第一例ノ any ハ whichever ノ義ニシテ第二例ノ any ハ whoever ノ義ナリ

第五篇

形容詞ニ關スル冠詞

第七十六章 二個以上ノ形容詞ガ、一事物

ヲ形容スルキハ。第一ノ形容詞ノ前ニ冠詞ヲ具ス

① That is an economical and very simple plan. (其が經濟にして甚だ簡易なる法なり)

② A black and white horse. (黒くして白き馬)

然レモ二個以上ノ事物ヲ形容スルキハ。其事物ノ數ニ應ジテ冠詞ヲ具ス

③ The Old and New Testaments. (新舊約全書)

④ A red and a white flag. (赤旗と白旗)

⑤ A tall, an old, and a fat man. (丈高き人に。老ひたる人に。肥へたる人)

(註) 第一例ハ一個ノ法ニシテ第二例ハ一匹ノ馬而シテ第三例ハ二部ノ書。第四例ハ二個ノ旗ニシテ第五例ハ三人ノ人ナリ又第三例ノ Testaments ヲ複數ニ爲シクルヲ注意スベシ此場合ニハ兩意ノ疑ナキ文ニ限ルモノナリ若シ兩意ノ疑アルベキハ必ズ The Old, and the New Testament. ト爲サドルベカラズ

第七十七章 Other 及ビ形容詞ヲ伴ヒタル one ナル形容詞ノ前ニハ。不定冠詞ヲ具ス

① If there is one virtue that should be cultivated more

than another by him who would succeed in life, it is punctuality. (身と立てんと欲する人に在りて特に養はずんばあるべからざる一徳ありとせば他なし時と守ると是なり)

2 I have a new hat, while he has an old one. (彼は古き帽と持つのに吾は新しき帽を持つ)

又 other = 定冠詞ヲ具スルキハ。残りノ一ノ義ト爲リ。others = 具スルキハ。残りノ皆 (The rest) ノ義ト爲ル

3 Both my brothers are abroad, one in America and the other in England. (私の弟は兩人共外國へ行きて居ります一人は亞米利加に跡の一人は英國に)

4 Are all these porcelains Owari ware? No, the blue and red ones Owari ware, but the others, I think, are Hi-zen. (此陶器は皆尾張焼です。否其青いのと赤いのは尾張焼ですが跡のは皆肥前焼だと思ひます)

(註) 第一例ノ如ク不定冠詞ヲ other ト結合セシメ one = 對シテ使用スルキハ往々名詞ニ伴ハズシテ獨立シ二個以上ノ人或ハ物ノ名ヲ表スモノトス

第七十八章 名詞ガ二個ノ形容詞ヲ有シ

テ。一ハ其名詞ノ前ニ來リ。一ハ其名詞ノ後ニ來ルキハ。各形容詞ノ前ニ。不定冠詞ヲ具ス

Ōanseki was a learned man and a cunning. (田舎賢人
と目録)

(註) 此例ニ於ケル事物ハ Ōanseki ノ一人ヲ示セルガ故ニ一箇ナリ然レモ冠詞ヲ複用シタルハ全ク語勢ヲ強メンガ爲メナリ此ノ如キ場合ニ於テハ前後ノ文意ヲ味ヒテ之レカ單複ヲ判スベシ

第七十九章 國名ヨリ由來スル固有形容詞ヲ用ヒテ。其國語ヲ言フキハ。冠詞ヲ具セズ

1 He talked English with a French accent. (彼は佛蘭西訛りに英語と談す)

然レモ其形容詞ノ下ニ。language ナル名詞ヲ添ユルキ。及ビ或ル兩個ノ詞ノ區別ヲ註スルキハ。定冠詞ヲ具ス

2 He talked the English language with a French accent.

3 "Pain" is the French for "bread." (ぼんとはふれつど)

に代る佛蘭西語あり)

又固有形容詞ヲ有スル名詞ニハ。冠詞ヲ具ス

4 The area of the Nipponese Empire is altogether over 24,700 square ri. (日本帝國の面積は總計二万四千七百方里あり)

(註) 第一例ノ English ノ下ニハ language ナル詞ヲ略シタルモ一國ノ語ト言フナレバ廣キ意義ナリ故ニ冠詞ヲ具セズ又第一例ノ French ト第二例ノ English トニ冠詞ヲ具セシハ第四例ノ法ニ由リテナリ又第三例ノ French ニ冠詞ヲ具セシハ佛蘭西語中ノ一語ナリト其意義ガ狭マリタレバナリ

第八十章 名詞ノ後ニ形容詞ヲ置クハ。其名詞ノ前ニ冠詞ヲ具ス

1 A man ignorant of astronomy. (天文學ヲ知らざる人)

2 It is painful to see an animal suffering. (苦痛する所ノ動物ヲ見るハ傷ましきものなり)

第八十一章 定冠詞ハ形容詞ニ配シテ。名詞ノ後ニ具ス

1 Section the Fourth. (第四篇)

2 Henry the Eight. (顯理第八世)

(註) 今夫レ第一例ノ文体ヲ變ジテ The fourth section ト爲カンカ the ハ名詞ノ前ニ來リテ文章ノ自然ノ順序ヲ得ルナリ然レモ斯ク名詞ノ後ニ置クハ之レガ語勢ヲ強ムルガ爲メニシテ文法上ノ特法ナリ此場合ノ定冠詞ハ限定ノ義ナルガ故ニ譯文ニ於テハ第ノ字ニ妥當スベシ

第八十二章 形容詞ニ定冠詞ヲ具シテ名詞ト爲スハ。複數ナレバ普通名詞ト爲リ。單數ナレバ抽象名詞ト爲ル

1 The good like to do good. (善人は善ト爲すトを喜む)

2 He studies the beautiful of nature. (彼は自然の美を講究ス)

(註) 第一例ノ the good ハ good men ナレバ複數ニシテ普通名詞ナリ又第二例ノ the beautiful ハ beauty ナレバ單數ニシテ抽象名詞ナリ

第八十三章 不定冠詞ヲ數量形容詞ニ加フルハ。集合ノ義ヲ表ス

There are a thousand things which crowd into my memory.

(我が記憶中に幅る數多の事物あり)

(註) 此場合ノ a thousand ハ數多ヲ意味スル形容
詞ト爲スベキナリ本書第五十二章ヲ参照スベシ

第八十四章 A ハ純粹ナル數量形容詞ニ使
用ス

1 They don't utter a single word. (彼等は一言も發せ
ず)

又數學ニ於ケル分數ヲ表スニ用ヒテ。one ノ
義ト爲ス

2 One and a half. ($1\frac{1}{2}$)

3 A third. ($\frac{1}{3}$)

(註) 第一例ノ a ハ one ナル數量形容詞ト同價値
ノモノトス又第三例ノ a ハ之ヲ one ニ代ヘテ one third
ト爲スヲ得ベシト雖モ第二例ノ場合ノ如キハ必ズ a ヲ
用ユベキモノトス又第一例ノ場合ニ於テ a ト one ト
ノ使用上ニ異ル點ハ同種類ニハ one ヲ用ヒ異種類ニハ
a ヲ用ユ

1 One apple is opposed to more apples. (一の林檎ハ
他の林檎に相違モ)

2 An apple is opposed to a pear. (林檎ハ梨と相違ス)

第八十五章 Many ナル形容詞ヲ複數名詞
ノ前ニ置クルハ。其名詞ニ冠詞ヲ具セズ

1 Many men do not know how to read or write. (大
概の人々は読み書きを知らない)

又之ヲ名詞トスルルハ。其次ノ名詞ヲ領格ト
シテ。之ニ定冠詞ヲ具ス

2 Many of the men do not know how to read or
write. (人々の大概は読み書きを知らない)

又之ヲ單數名詞ノ前ニ置クルハ。其名詞ト此
詞トノ間ニ。不定冠詞ヲ具ス

3 Many a man ruins himself by those small errors of
calculation. (瑣細な算違の爲めに一身を滅す者が多い)

又之ニ great ヲ配シテ。複數名詞ノ前ニ置ク
ルハ。a ヲ其前ニ具ス

4 There are a great many nations. (數多の國民あり)

(註) 名詞ニ冠詞ヲ具セズシテ many ヲ用ユルルハ
其名詞ハ必ズ複數ナルベシ然レモ複數ヲ表ス many ト
單數ヲ表ス a トヲ合シテ之ヲ單數名詞ノ前ニ置クルハ
其單數名詞ガ複數ノ意義ヲ有スルモノナリ而シテ此場
合ノ名詞ハ賓格ナリト雖モ常ニ文章ノ起頭ニ置キテ主

格ヲ動詞ノ下ニ降スハ是レ語勢ヲ強メンガ爲メナリ此
用法ノ古キハ遠ク第十三世紀ニ在リ而シテ當時ニ於テ
ハ many enue thing (即チ many a thing 或ハ many
one thing ノ意) ノ如ク enue ナル形ニテ通用セラレタ
ルモノナリ然レモ だるぐれ 一 す氏 ハ以爲ヘラク此場合
ノ a ハ of ノ腐蝕シタルモノニシテ其名詞ハ原ト複数
ナリシナラン故ニ many a man ハ many of men ナリ
ト若シ夫レ定冠詞ヲ many へ具シテ句ト爲スハ本書第
百三十三章ヲ参照スベシ)

第八十六章 Some ナ形容詞ニ使用スルキ
ハ。certain ノ義ヲ爲ス

Some men believe one thing, and others another. (或る
人は一事ヲ信ヒ而して他の人は他事を信ず)

第八十七章 Any ナ all ナル形容詞ト反對
ニ使用ス

The languages for examination are, English, French,
German, and Russian.

A student may choose any two of them. (試験の方語は
英佛獨魯語とす。受檢者は右の中二語と撰むべし)

第八十八章 Each, every, either, neither ナル形

容詞ノ後ニ來ル名詞ニハ。冠詞ヲ具セズ

1 Each ivied arch is in decay. (各蔓々生じたる穹窿
の建物は殘破せり)

2 Either plan promises well. (何れの計に出づるも善
しとす)

3 What is the business of every body is the business
of no body. (各人共同の職とする者は何人も之ヲ爲さず)

第八十九章 All ナル形容詞ヲ用ユルノ名
詞ニハ。不定冠詞ヲ具セズ

1 All a country's wealth disappears, when it's govern-
ment is corrupt. (邪政があるとき悉く國の寶が消へるもの
だ)

若シ名詞ガ定冠詞若クハ形容詞ヲ有スルキ
ハ。all ナ其前ニ置ク

2 All the wealth of a country disappears, when it's
government is corrupt.

(註) 第一例ノ all ハ wealth ニ係リテ a ハ country's
ニ係ルモノナリ而シテ a country's ナル形容句ハ原ト
第二例ニ於ケルガ如ク of a country ノ形ヲ以テ wealth
ヲ形容セシモノ今ヤ第一例ニ於ケル如ク領格名詞ノ形ヲ

以テ wealth ナ形容スルモノナレバ寧ロ之ヲ形容詞ト見
 做スベシ故ニ名詞ガ形容詞ヲ有スルハ all ヲ其前ニ
 置クノ例トシテハ又第一例ヲ用ユベシ尙ホ第二例ト對
 照シテ其變化ヲ知ルベシ

第九十章 This, that, yon, yonder ナル指示形
 容詞ノ後ニ來ル名詞ニハ。冠詞ヲ具セズ

1 Set us defend this sea-girt isle. (此の海に圍はれたる島)

2 You flowery arbors, yonder alleys green. (那の花亭
 に那處の綠徑)

第九十一章 Such 或ハ what ナル形容詞ヲ
 複數名詞ノ前ニ置クハ。冠詞ヲ具セズ

1 If such arguments are to pass current, it will be
 easy to prove that there was never such a thing as religious
 persecution since the creation. (若し此論として行はれしめ
 は創世以來宗教上刑罰の如き者は決して之あらざるを証
 すべし)

又之ヲ單數名詞ノ前ニ置クハ。其名詞ト此
 詞トノ間ニ。不定冠詞ヲ具ス

2 What a difference there between man and man, in
 temper and disposition, and intellect. (性質偏癖。及び智識

に於ては人と人との間に大に逕庭あるものなり)

3 He must be mad, to make such an assertion. (斯様
 なる決斷を爲すらには彼は狂者に違いない)

(註) 不定冠詞ノ本然ノ位置ハ其名詞ガ形容詞ヲ有
 スルハ其形容詞ノ前ニ具スベキモノナリ今形容詞ノ
 後ニ來ルハ是レ俗語体ニシテ正式ニ據ラザレバナリ故
 ニ such a, what a 或ハ many a ハ之ヲ複數形容句ト稱
 シテ the kind of ノ義ヲ爲スモノナリ

第九十二章 Certain ナル形容詞ニハ。冠詞ヲ具
 シテ句ト爲シ。以テ固有名詞或ハ普通名詞ニ
 冠ス

1 My companion was a certain Lieutenant Goldsly,
 well-known on the turf. (私の友に馬市場で名高き尉官の
 ゴールドスリーと云ふ者がいました)

2 About every thing Bakin wrote there was a certain
 natural grace and decorum. (凡る馬琴が著したる者は何
 んどあしに[或ルノ義]自然の愛と美とを有せり)

若シ親密ノ意ヲ表ス俗語体ノ固有名詞ニ於
 テハ。a certain ノ代リニ one ヲ用ユルヲ常トス

3 I am son of one Ginosuke. (私は儀之助と云ふ者の

弊でございませう)

① (註) A certain は a と同義ニシテ第一例ノ如ク固有名詞ニ冠スルキハ[○]と云ふ者ト譯シ又第二例ノ如ク普通名詞ニ冠スルキハ[○]或る或ハ[○]何ん[○]と[○]なし[○]にト譯スベキナリ又固有名詞ノ場合ニ於テ其名ガ Mr. ナ伴フキハ one ト a certain トヲ用ヒズ a certain ノ如キハ certain ヲ省キテ a ノミヲ具スルモノトス之レガ例ハ本書第十章ヲ参照スベシ

第九十三章 Little 及ビ few ナル形容詞ハ。不定冠詞ノ有無ニ由リテ其義ヲ異ニス

① He has both little money and few friends. (彼は金も友も少しもない)

② He has a little money and a few friends. (彼は金と友が少しはある)

又 few ガ關係代名詞ノ前行者ナルキハ the ヲ具ス

③ The few who remained till the end were nearly exhausted. (後に残りたる[○]悉皆[○]が殆んど[○]索きたり)

(註) 第一例ハ無キヲ主トシテ言ヒ而シテ little ト few ノ前ニハ a ヲ略シタルモノニシテ其略シタル

a ハ none ノ義ヲ有シ第二例ハ有ルヲ主トシテ言ヒ其具シタル a ハ some ノ義ヲ有スルヨリ a little ト a few トハ some (少シハ) ヲ意味スルモノナリ之ニ反シテ第三例ノ the few ハ all (悉皆) ヲ意味スルモノトス尙 little 及ビ few ノ用法ハ余ガ著シタル英文和譯五百題ヲ参考スベシ

第九十四章 Same ナル形容詞ノ前ニハ。定冠詞ヲ具ス

The same actions may arise from quite contrary principles. (同一の動作が全く反對したる原理より起るとあり)

(註) Same ハ截然一定スルノ意義アルモノトス

第九十五章 Former ト latter ナル形容詞ニハ。定冠詞ヲ具シテ名詞ト爲ス

To understand the former, you must know something of the latter. (前者を解せんと思せば後者の數事ヲ知らざるべからず)

第九十六章 Both, double, half ナル形容詞ヲ用ユルキハ。冠詞ヲ其後ニ具ス

① Both the hemispheres. (兩半球)

② The enemy was double the strength of our company.

(敵は我中隊の二倍なり)

㉔ I had half a mind to continue the dispute. (余は心と傾けて此争論を續けんとす)

然レモ half が名詞ノ後ニ來ルキハ。a が halfニ先行ス

㉕ The dove is sold at ten sen and a half. (此鳩は十錢五厘あり)

(註) 第二例ノ場合ノ double ハ二倍ノ意義ノ時ニ限ルモノトス

第九十七章 Most ナル形容詞が名詞ニ直接スルキハ。冠詞ヲ具セズ

1 Most insects have wings. (大抵の昆虫は翼あり)

又 most ノ次ニ形容詞が來リ。而シテ名詞ニ形容句ナキキハ。之ニ不定冠詞ヲ具ス

2 A most dreadful war ensued. (甚だしく恐ろしい戦争が起つた)

又名詞ニ形容句アルキハ。之ニ定冠詞ヲ具ス

3 The most part of the night. (夜半過ぎ)

又之ヲ代名詞ト爲スルキハ。冠詞ヲ具セズ

4 Most of them are very cruel. (之れが大半は甚だ残忍なり)

(註) 第二例ノ most ハ最上級ノ形容詞ナルモ此場合ニ於テハ何々ノ中ニ最モト言ハズ絶對的ニ用ヒタレバ very ノ義ナリトス故ニ其前ニ a ヲ具ス然レモ若シ其後ニ of the ノ句アリテ之レガ意ヲ限ルキハ亦第三例ノ如ク the ヲ具ス

第九十八章 A ナ few, hundred, thousand, great many ナル形容詞ノ前ニ附シテ複雜形容詞ト爲シ。複數名詞ニ具ス

1 A few [of] days. (數日)

2 A hundred [of] years. (一百年)

3 A thousand [of] cars. (數多の注意)

4 There are a great many nations. (數多の國民あり)

(註) 凡ソ冠詞ノ本領トシテハ名詞以外ノ詞ニ具スベキモノニアラス然レモ此等ノ詞ニ不定冠詞ヲ具スルハ原ト of ナル前置詞ヲ有スル名詞ナリシガ爲メナリ今 of ヲ略シテ a few 等ノ形ニ爲スハ俗語体ニ據ルモノナリ蓋シわんぐろさくろん語ハ此等ノ詞ノ次ニ價格名詞ヲ附スルヲ常トス今尙俗語ニ a dozen of, a pair of, a score of 等ヲ使用スルヲ見テ知ルベシ故ニ之ヲ文章ノ上ニ使用スルニ方リテハ複雜形容詞ト爲スヲ善ト

ス尙ホ本書第五十二章及ビ第八十四章ヲ参照スベシ

第九十九章 Last 及ビ next ナル形容詞ヲ用ヒ
テ月日ヲ表スニ。現在若クハ現在ニ接近スル
時ナレバ、冠詞ヲ具セズ

1 Next Sunday is my birthday. (次の日曜日が私の
誕生日であります)

2 Last century was eighteenth, and next [century] will
be the twentieth. (前世期は十八世期にして次世期は二十
世期なり)

然レモ全ク現在ヲ離レテ。過去或ハ未來ニ屬
スルキハ。定冠詞ヲ具ス

3 The last sunday of last month was wet. (先月の末
の日曜日は雨天なりき)

4 The next day before or after Easter. (耶穌復生節前
後の次日)

(註) Last 及 next ハ 最上級ノ形容詞ナレバ月日ニ
用ヒザルキハ通常ノ形容詞ニ準ズベキモノトス

第百章 比較級及ビ最上級ノ形容詞ハ。意
義ヲ強フスル爲メ定冠詞ヲ具

1 Discretion is the better part of valor. (小心翼翼は

勇の端なり)

2 The harder it pulls the tighter the noose becomes.
(愈強く之ヲ牽けば活索は益緊しくなる)

3 The women of Kiyōto are the prettiest in Nippon.
(京都の女は日本に於て最も美しき者なり)

4 Homer was the most famous poet of ancient. (ほ-
ま-は古の最も有名なる詩人なり)

又比較級ノ形容詞ガ than ヲ伴フキハ a ナ具
シ。of ヲ伴フキハ the ナ具ス

5 He is a wiser man than his brother. (彼は彼の兄
弟より賢き人なり)

6 He is the wiser of the two. (彼は兩人より賢し)

又比較級ノ形容詞ガ。一個ノ事物ヲ比較スル
キハ。其名詞ニ不定冠詞ヲ具シ。二個ノ事物
ヲ比較スルキハ。定冠詞ヲ具ス

7 A larger fortune I never desired. (余は決して之よ
り大なる身代を望まぬ)

8 The remedy is more painful than the disease. (病氣
より療治の方が苦しい)

然レモ than ノ前ニ直接ニ。比較級ノ形容詞ヲ

置クキハ。定冠詞ヲ具セズ

⑨ Nipponese lacquers are better than Chinese. (日本の塗物は支那のより良い)

第百一章 Several ナル形容詞ニ次グ名詞ニハ。冠詞ヲ具セズ

① There are several houses in the neighbourhood of the Admiralty to let. (海軍省の近旁に貸家が數軒あります) 又 several ナ名詞トシテ用ユルキモ。冠詞ヲ具セズ

② Several of the houses in the neighbourhood of Shiba belong to the Admiralty. (芝邊の家に海軍省附が數軒あります)

(註) 此詞ハ第一例ニ於ケル如ク形容詞ニ用ユルキハ名詞ニ直接シテ置キ而シテ不定數ニ就テ其多少ヲ言ヒ第二例ノ如ク名詞ニ用ユルキハ其次ノ名詞ヲ領格ト爲シテ之ニ定冠詞ヲ具シ而シテ定數ニ就テ其多少ヲ言フモノナリ

第六篇

動詞ニ關スル冠詞

第百二章 Act 或ハ play ナル動詞ノ後ニ來ル單數ノ普通名詞ニハ。定冠詞ヲ具ス

① He was a little proud of playing the Mæccenas. (彼はみーせなすを以て自から任せり)

② He was a great hope to act the hero. (彼は英雄たらんとする大望ト有せり)

第百三章 他動詞ト賓格ニ於ケル抽象名詞若クハ普通名詞ト結合シテ。更ニ一ノ動詞ヲ成スルキハ。冠詞ヲ具セズ

① Do justice. (正そ)

② Have pity. (憐む)

③ Make war. (戦ふ)

④ Make head. (進む)

⑤ Take hold. (捕ふ)

⑥ Take place. (起る)

(註) 此例ノ第四及ヒ第六ハ普通名詞ニシテ其他ハ抽象名詞ナリ

第百四章 Turn 或ハ become ナル動詞ガ。助動詞ヲ有スルキハ。其後ニ來ル名詞ニ冠詞ヲ具セズ

1 I was at last obliged to turn sharper in my own defence. (余は終に止むを得ず己を護らんが爲め詐僞者に變せり)

2 He has now become poor, though formerly rich. (彼は前には富みしも今は貧しく爲れり)

然レモ助動詞ヲ有セザルキハ。不定冠詞ヲ具ス

3 Who turns a Persian tale for half a crown? (誰かペルシヤ人の話と半クラウンの價に轉せしや)

4 Man became a living soul. (人が活潑ある精神と爲れり)

第百五章 助動詞ヲ有スル補充詞 (Complement) ノ名詞ニハ。冠詞ヲ具セズ

1 Who will be elected president? (誰が大頭領に撰まらんか)

2 He is professor in the academy. (彼は中學校にて教頭なり)

然レモ同一ノ官職ニ任ゼラレタルヲ記スルキハ不定冠詞ヲ具ス

3 He was appointed a teacher of mathematics in the

university. (彼は大學校の數學教師に任せらる)

第百六章 Any ハ will, would, can, could, may, might ナル助動詞ノ前ニ來レル名詞ニ具ス

1 Any one may read this book. (何人(ハ)も此ノ書(ヲ)可ク讀ム)

2 Any one can read this book. (何人(ハ)も此ノ書(ヲ)能ク讀ム)

3 Any persons will do it. (何人(ハ)も此ノ事(ヲ)爲ス)

第百七章 No ナ ing ヲ有スル分詞ニ具スルキハ。to ヲ有スル分詞ト impossible ナル形容詞トヲ以テ組織セル。文体ニ均シキモノトス

If he did not alter the conduct, there was no knowing [it was impossible to know] what his father might do. (若し彼にして其品行を改めずんば其父が何と爲するを知る能はず)

第七篇

副詞ニ關スル冠詞

第百八章 比較級或ハ最上級ノ副詞ニハ。

意義ヲ強フスル爲メ定冠詞ヲ具ス

1 He choose it the rather. (彼は特に之を擇む)

2 The sooner the better (愈速なれば愈速なる丈け愈善し)

3 A constitution the most fit. (尤も善く適したる憲法)

4 The very fairest flowers usually wither the most quickly. (最も美麗なる花は常に尤も速に凋む)

(註) 第二例ノ the ハ定冠詞ト其性質ヲ異ニスルモノシテ that ノ變形ナリトス故ニ前ノ the ハ by that (其れ丈け)ノ義ニシテ後ノ the ハ by so much (其れ丈け多く丈け)ノ義ナルヲ以テ此文章ノ如キハ By that sooner by so much better. (其れ丈け愈速なれば其れ丈け多く丈け愈善し)ト爲スベシ夫ノ To get the better. (勝つ)ノ the better (より善く或はより多く)ト同シカラズすいんどん氏ハ言フ此場合ノ the ハ あんぐろさくろん語ノ指示形容詞ナル that ト同シキモノニシテ古ハ thy ニシテ why ト比較シ前ノ the ハ by what (何れ丈け)ノ義ニシテ後ノ the ハ by that (其れ丈け)ノ

義ナリト

第百九章 So, as, too, how ナル副詞ヲ以テ。限定セラレタル形容詞ノ後ニハ。不定冠詞ヲ具ス

1 So hard a winter had not been known for years. (斯様なる嚴冬は數年以來之あらざりき)

2 He seemed to be as melancholy a personage as anyother. (彼は或人の如く憂愁したる人物と見へり)

3 That is too good an opportunity. (是れ好機會なり)

4 How great a fire a little spark kindleth! (幾多の火が僅少の焰と起すかな)

第百十章 There ナル副詞ガ is 若クハ was ナル動詞ノ主格ト爲ルキハ。其動詞ノ下ニ在ル主格ノ名詞ニ。不定冠詞ヲ具ス

1 There is a man lying on the road. (道に横たへたる人) 然レモ其名詞ガ關係代名詞ヲ有スルキハ。定冠詞ヲ具ス

2 There were the pictures that he brought from Europe lately. (彼が此頃歐羅巴より持て來た額がある)

又關係代名詞ヲ有セザルモ。其名詞ガ唯一ト

定マリタルカ。或ハ天然無二ノ物ナルキハ、
亦定冠詞ヲ具ス

③ There were the Minister and Vice-Minister, and several others whom I did not know besides. (大臣と次官が居りましたが其外私の知らぬ者が五六人居りました)

第百十一章 No ハ 應答副詞 = 使用ス

Will you go? No. (汝は行くならん。否)

(註) 此場合ノ no ハ副詞ノ如シト雖原ト省略セル文章ノ事實ニ具シタル冠詞ニシテ非拒ノ文章ト均シキ勢ヲ有スルモノナリ

第百十二章 Never 或ハ ever ナ文章ノ劈頭ニ置クキハ。之ニ接スル名詞ニ冠詞ヲ具セズ

① Never had husband a wife so devoted. (夫たる者決して此の如く服事する妻と有たざりき)

② Was ever woman in this humorous mood? (斯様ある滑稽の婦人ありや)

第百十三章 Any 或ハ some ナ副詞トシテ使用スルキハ。何レモ a little (少シハ)ノ義ヲ有ス

① Are you any better. (汝は少しは快くなりたる)

② The censure was to some extent just. (非難は少しは正當なりき)

第百十四章 Rather 或ハ quite ハ不定冠詞ニ先行スルモノトス

① He during his time at the University was rather a studious man. (彼は大學に在るの間は頗る勉學者なりき)

② After marrying a girl he find she is quite a different thing from what he expected. (彼は一女と娶るの後其望みたる者とは異れると發見したり)

第百十五章 Some ナ副詞トシテ。about ノ代リニ使用ス

① Some five years before the papers had advertised the marriage. (幾んど五年前に新聞紙は婚姻の事と廣告せり)

又 somewhat ノ代リニ使用ス

② He is some better. (彼は稍や快復そ)

(註) Some ハ單數ノ名詞ニ具セズ獨リ單數ノ意義ヲ有スル複數名詞ニ具ス今第一例ニ於ケル five years ハ複數名詞ニシテ其意義モ亦單數ニアラス故ニ此場合ノ some ハ副詞ト爲スナリ又第二例ノ使用法ハ全ク采

國 = 於ケル無學者流ノ誤用 = 多キモノトス從來英國 =
モ使用セラレタリト雖モ甚マ稀ナレバ畢竟之ヲ亞米利
加流ト謂ハザルヲ得ズ

第八編

前置詞 = 關スル冠詞

第百十六章 語勢ヲ強メ、簡略ヲ要スル爲
メ、前置詞ノ後 = 冠詞ヲ具セズ

1 He acted without permission. (彼は許可なく之を行
へり)

2 We rise at seven o'clock in the winter, and in
summer at six. (吾人は冬は七時に起き夏は六時に起く)

(註) 此場合ノ名詞ハ多クハ尤モ廣キ意義ヲ取レル
抽象名詞 = シテ前置詞ト合シテ句ヲ爲シ副詞若クハ形
容詞 = 均シキ効力ヲ有スルモノナルガ故 = 冠詞ヲ具セ
ザルモノトス若シ其名詞ガ普通名詞ナルハ既ニ方語
ト成レルモノトス

第百十七章 A ハ ing ヲ有スル分詞、或ハ
hyphen ヲ附シタル名詞 = 具シテ、前置詞 = 使
用ス

1 He is gone a hunting. (彼は獵に行けり)

2 She lies a-bed all day. (彼女は終日褥に在り)

(註) 此場合ノ a ハ原ト at ナル前置詞ヲ短縮シタ
ルモノナリぶらうん氏ハ以テ at ヲ意味スル佛蘭西語
シ轉用ナリトシすいんとん氏ハあんぐろさくろん語ノ
前置詞 an (今ノ on = 同ジ) ヲ省略シタルモノトセリ

第百十八章 計數 = 關スル文章ノ by ナル
前置詞ノ後 = ハ、定冠詞ヲ具ス

1 He would stand there by the hour at a time. (彼は
時代りに立つあらん)

2 Coal is sold by the ton. (石炭が噸數にて賣らる)

第九編

接續詞 = 關スル冠詞

第百十九章 不定冠詞ハ as ナル接續詞ノ
後 = 具セズ

1 Johnson soon after engaged as usher in a school. (ト
よんろんは幾もなく一校の助教に従事せり)

然レモ状態ヲ述ベテ、其性質ヲ表スルハ之ヲ

具ス

② Rather than after our views with every current of worldly affairs, we should change it as a mountain changes the course of winds. (世の潮流に従ひて其説と變せんよりは寧ろ風の方向を變ずる山岳の如くならむと欲す)

第百二十章 A 及ビ an ハ接續詞ニ使用ス

Ⅰ A just judge would, beyond all doubt, have reserved the case for the consideration of the sovereign. (若し正義と守るの判官ならしめば必ず主權者の令と待つて處分したるや疑ふし)

② An it be a long part, I can't remember it. (堅^ツ固^クニ^シ長^クナル部^分ニ^シテハ、憶^ハズ^ルナリ)

(註) 此場合ノ不定冠詞ハ if ナル接續詞ノ意ナリ殊ニ an ハ古人ノ記セル會話ノ文体ニハ往々之ヲ使用セリ故ニくわつけんぼす氏ハ云フ是レ純然タル接續詞ナリ不定冠詞ト混ズベカラズト

第百廿一章 Any ナ代名形容詞ニ使用スルキハ。if ナル接續詞ノ後ニ具ス

Ⅰ If any, speak. (若し何^カ有^ルるなれば〔無ければ止むを得ざるも〕之と語れ)

② If any of you lack wisdom, let him ask of God, and it shall be given him. (若し汝等の中の誰^カ智^クと欠^クならば神に願はしめよ而して神は智を授くなるべし)

(註) 此場合ニ於ケル any ハ固有ノ意義ニ用ヒテ人ニハ somebody(誰^カ)物ニハ something(何^カ)ノ義ト爲スベシ

第百廿二章 近代ノ英語ニ於テ。同格接續詞ヲ以テ聯結セル二個ノ名詞ノ中。第二ノ名詞ニハ冠詞ヲ具セズ

He took a knife and folk from the table. (彼は食臺より小刀と匙とを取れり)

(註) 此場合ニ於ケル冠詞ノ省略ハ正シキモノニアラザレバ若シ二個ノ名詞ノ意義ガ相ヒ關聯セズレテ少クニテモ兩意ノ疑アルベキハ此用法ヲ避クベシ尙本書第六十章ヲ參照スベシ

第十篇

間投詞ニ關スル冠詞

第百廿三章 普通名詞ニ感歎點ヲ附シテ。感歎ノ意ヲ重ヌルキハ。之ニ不定冠詞ヲ具ス

A horse! a horse! my kingdom for a horse! (馬哉馬哉
馬に適する王國哉)

(註) 此場合ノ a ハ尤モ廣キ意義ヲ取リテ any ト
同義ナリ

第十一篇

句ニ關スル冠詞

第百廿四章 同格句 (Appositive phrase) ノ名詞
ニハ。冠詞ヲ具セズ

1 We Victoria, Queen of England. (朕[○]英國女王[○]維
維多利亞)

2 It was Ann, daughter of James. (是れ[○]ジェームズ[○]
の娘[○]アーンなり)

(註) 茲ニ注意スベキハ of ヲ有スル Queen of
England ト daughter of James トガ同格句ヲ爲シテ其先
行者ナル Victoria ト Ann トニ密接シテ一語ノ稱
號ノ如ク語勢ノ強マリタルヲナリ何ソトナレバ若シ之
ガ通常ノ同格句ニシテ of ヲ有セザルキハ冠詞ヲ具ス

The somerset, a phantom ship. (一盤船[○]ろまーせつと)

Milton, the English poet. (英國の詩家[○]みるどん)

又 of ヲ有スル同格句ナルモ語勢ノ弛ミタルキハ定冠詞
ヲ具ス

Chaucer, the father of English poetry. (英國詩學の祖
ちようさー)

第百廿五章 常ニ往復スル場所ヲ表ス副
詞句ノ名詞ニシテ。其企ツル目的ヲ成就スル
ニ使用スルキハ。冠詞ヲ具セズ

1 I have just returned from school. (私は只今學校[○]
ら歸りました)

2 The injured man was carried to hospital. (負傷者
が病院に送られたり)

然レモ他ノ目的ヲ成就スルニ使用スルキハ。
定冠詞ヲ具ス

3 I went to the school to call upon the teacher there.
(私は教師[○]を訪問する爲めに學校へ行けり)

4 My house is behind the hospital. (私の家は病院の
後に在り)

(註) From school, to hospital ノ句ハ既ニ方語ト成
リタルモノニシテ第一例ハ眠食ヲ得ンガ爲メ學校ヨリ
歸リ第二例ハ治療ヲ受ケンガ爲メ病院へ行クコト其企

ツル目的ニ學校ト病院トハ離レズ常ニ往復スル場所ノ義アリ故ニ冠詞ヲ具セズト雖第三例ハ教師ヲ訪問スルガ目的ニシテ必ズモ學校ニ於テスルニ限ラズ又第四例モ家ノ位置ヲ示スガ目的ニシテ必ズシモ病院ト云フニ及バズ是レ常ニ往復スル場所ノ義ナシ故ニ常冠詞ヲ具ス

第百廿六章 冠詞ヲ具シタル名詞句ヲ變シテ冠詞ヲ具セザル句ト爲ス

- 1 The fidelity of the dog. = Canine fidelity. (狗の忠)
- 2 The bravery of soldiers. = Soldiers' bravery. (軍人の勇)
- 3 Want of politeness in our inferiors is due to deficiency in their education, and by being angry with it we should lose our virtue. (下人の禮なきは教育の足らざるに歸す而して之を怒るは我が徳ヲ失ふものなり)

(註) want ナル抽象名詞ニ of politeness ナル形容句アリテ劃然之ヲ限定スルヲ以テ本書第六十八章ニ據リ定冠詞ヲ具スベキナリ然レモ其具セザルハ want of politeness ニ就キ of ナル無キモノト假定セバ want ハ名詞狀ノ形容詞ト爲リテ直ニ欠禮ト爲リ又 of ナル

モノトスルモ其意義ハ impoliteness ナル抽象名詞ト同ジキヲ以テ一句ノ意義ヨリ冠詞ヲ具スベカラズ

第百廿七章 At school, in town, at home 等ノ副詞句ヲ動詞ノ後ニ置キ前置詞ヲ省キテ新ニ不定詞句ト爲スルハ其名詞ニ冠詞ヲ具セズ

- 1 To attend school. (在學する)
- 2 To go town. (出府する)
- 3 To leave home. (出立する)

第百廿八章 重積ト連續トノ意ヲ含メル副詞句ノ名詞ニハ冠詞ヲ具セズ

Week in, week out, from morn till night, you can hear his bellows blow. (年百年中朝あら晩まで風櫃と吹あざる日はあし)

第百廿九章 A ナ名詞ニ具シテ名詞句ト爲ス

- 1 Have a care, my boy. (注意すべし我の子)
- 2 Eat a bit before you drink. (飲む前に少し食へ)

(註) 第一例ノ care ハ抽象名詞ナリ故ニ冠詞ヲ具スベカラズ然レモ a ナル具スルル品類ヲ表ス所ノ普通名詞ニ變ワレ一種ノ注意ト云フ廣キ意義ノ名詞句ト成

第二例ノ bit ハ普通名詞ニシテ之ニ a ヲ具スルハ
ハ普通名詞ノ原則ニ據ルモノニシテ少シト云フ意義ノ
副詞句ヲ成セルモノナリ

第百三十章 Of ナル前置詞ヲ有スル形容
句ノ名詞ニハ。定冠詞ヲ具ス

The end of wrath is the beginning of repentance. (怒の
終は悔の始なり)

第百三十一章 分格句 (Partitive genitive) 或ハ
歸格句 (Attributive genitive.) ノ名詞ニハ。定冠詞
ヲ具ス

1 Part of the men fell in battle. (全員の一部は戦場
に斃れり)

2 The lines of railway were taken over rivers on
bridges. (鐵道の線路が河に橋して設けらる)

第百三十二章 定冠詞ハ一句或ハ一文章
ヲ成スヘキ。他ノ詞ノ省畧セルヲ示ス

1 The star. (例の星)

2 None but the brave deserve the fair. (勇者にあら
ざれば美人に匹する能はず)

(註) The ナル冠詞ノ具スルアレバ其名詞ハ必ズ形

容詞若クハ形容句等ノ性質ヲ表ス附属語ノ略スルアリ
テ無限ノ意義ヲ有スルモノナルヲ知ルニ足ルモノナリ
故ニ第一例ノ場合ニ於テハ發言者ノ意ニハ The evening
star. (宵の明星) 若クハ The star that shines in the
morning (曉の明星) 等ノ意ヲ含メリ又第二例ノ the ノ
下ニハ獨リ brave ト fair トノ形容詞ヲ置ケリト雖モ
the ノ指ス名詞ニ至リテハ勇ト美トヲ以テ合名アル絶
世ノ人物ナルヲ示スモノニシテ其意義ハ無限ナリ人ノ
種類ヲ表スルハ殊ニ此法ヲ用ユルナリ

第百三十三章 Public, many, general ナル名詞
ニハ。定冠詞ヲ具シテ名詞句ト爲シ。衆多名
詞ニ使用ス

1 It will produce unspeakable benefits to the public.
(是れ言ふべからざる利益を衆人に生ずるならん)

2 The vulgar and the many are fit to be led or driven.
(俗人及び群衆は導くべきにあらざれば追ふべきのみ)

(註) The public ハ all men 或ハ the outside world
ノ意義ニシテ the many, 及び the general ト共ニ「ま
くすび」や氏ノ常句ナリ

第百三十四章 Any ト more トヲ合シテ熟

語(副詞句)ト爲スキハ。疑問ノ文章ニハ[また]非拒ノ文章ニハ[もう]ノ義ニ使用ス

1 Is there any more news? (まだ新聞があるか)

2 Hasn't the market man any more biwas? (八百屋はもう枇杷を待つていないか)

第百三十五章 The thorough gentleman 卜 quite the gentleman. ナル形容句ノ定冠詞ノ位置ヲ注意スベシ

1 He was quite the gentleman in his manner, but not much of a man of business. (彼は品行に於ては間然する所なき君子なりしも事務に老練なる人にあらず)

2 You will always find me the thorough gentleman, I never so. (汝は常に吾と見て以て間然する所なき君子と爲すならんも吾は決して之に當らず)

第百三十六章 通常慣用スル副詞句ニシテ。熟語ト爲リタルモノニハ。冠詞ヲ具セズ

1 The loyal retainer arises in time of nation danger. (忠臣は國難の時に現はる)

2 He was not, at heart, a malicious boy. (彼は真に悪意ある小供にあらず)

第百三十七章 前置詞ヲ以テ同一ナル兩個ノ名詞ヲ聯結シテ。副詞句ト爲スキハ。冠詞ヲ具セズ

1 Step by step one goes a long way. (歩々竟に遠きに達す)

又不同ナル兩個ノ名詞ヲ聯結スルキハ。或ハ具シ或ハ具セズ

2 I was covered with dust from [the] head to [the] foot. (私は頭から足まで塵だらけだ)

(註) 第二例ノ場合ニハ意義ノ強弱ニ依リ或ハ具シ或ハ具セズ

第百三十八章 議會。官省等ノ集會ニ屬スル名詞句ニハ。定冠詞ヲ具ス

1 The common house. (衆議院)

2 The Department of education. (文部省)

3 The Home Department. (内務省)

第百三十九章 不定冠詞或ハ定冠詞ヲ以テ。名詞ト前置詞トヲ聯結シテ。一定ノ副詞句ヲ成ス

1 From an infant he has this malady. (幼より彼は此

病あり)

② You who went to win must get up early of a morning. (人に勝たんと欲する人は毎朝早く起きざるべからず)

③ What in the world are you doing. (汝等は何の暮しと爲せるや)

(註) 此場合ノ句法ハ皆俗語的使用法ニ由ルモノナリ而シテ第三例ノ in the world, ハ what ノ意義ヲ強フモノガ爲メニ挿入セリ

第百四十四章 Sort of, kind of, class of ナル歸格句ヲ用ヒテ。記載的領格ヲ爲ス名詞ニハ。不定冠詞ヲ具セズ

① The giraffe is a kind of deer. (麒麟は鹿の一種あり)

然レモ之ヲ會話体ニ使用スルハ。不定冠詞ヲ具ス

② What sort of a boy is Henry? (顯理は何んな小供の種類なりや)

(註) 第一例ノ deer ニハ何故ニ a ヲ具セズト云ハ a kind of ナル句ハ a ト價值ヲ同フスルガ故ニ宛

モ a deer ト云フガ如ク鹿モ多種ナルガ其中ノ一種ナリト a kind of ナル句ヲ以テ漫然 deer ヲ言ヒ表セルト同一ナリ又 of deer ナル句ハ其一種ノ何ナルカヲ言ヘルモノニシテ領格ノ義ヲ爲セルガ故ニ亦冠詞ヲ具セザル理由ヲ有スルモノトス

第百四十一章 俗語ノ副詞句ニ於テ。and ナル接續詞ヲ以テ聯結スル名詞ニハ。冠詞ヲ具セズ

Man and boy I have been in the place for fifty years. (幼時より人と成るに至るまで余は五十年間此地に住めり)

第百四十二章 No ハ not any 或ハ not some ナル副詞句ニ均シキ力ヲ有ス

Have you not some [not any] way to escape? I have no (逃るべき道なきや。あらず)

第百四十三章 不定冠詞ヲ具スル名詞句ノ冠詞ヲ略スルハ。複數タルノ記號ト爲ル

① a house. (單數) house. (複數)

② a man (單數) men. (複數)

第百四十四章 Some ニ certain ナル形容詞

ヲ附シテ。代名形容詞句ト爲シ。特殊ナル事物ヲ指定スルニ使用ス

I have moved already some certain of the noblest-minded Romans. (余は既に潔誠なる羅馬人の數人を一致せしめたり)

(註) 此場合ノ some certain ハ殆ンド代名詞ニ用ヒタル some ニ一層指定ノ意ヲ寓セシメタルモノナリ

第四百十五章 文章ノ劈頭ニ於ケル説明的ノ副詞句中ニ to be ナル助動詞ト共ニ置カル、名詞ニハ冠詞ヲ具セズ

Soldier as he was, he turned sick at ghastly sight. (軍人なりしも彼は病の爲めに憔悴したる容貌に變せり)

(註) 軍人ナリト云フコトニ注意ヲ惹カシメンガ爲メ斯ク倒置ヲ爲シ且ツ之レガ語勢ヲ強メンガ爲メニ省ケリ

第四百十六章 Above = 定冠詞ヲ具スルルハ。正ニ紀述シタル者ヲ示ス名詞句。或ハ形容詞ト爲ル

I beg to certify that the above is a correct copy. (私は以上が正確なる謄寫あるを証明されんを乞ふ)

The above story has also been related of a very

different personage. (以上の談話も亦種々の貴人の事を談せしものなり)

又 said = 具スルルハ。前ニ話シタル人ノ名ヲ再言スルルニ用ユル形容詞ト爲ル

In consideration that Adam Baird will at my request pay all my hotel expenses for the next three months, I hereby guarantee to the said Adam Baird all my personal effects. (あだむばーどが私の需めに應じて向ふ三ヶ月の間私の宿料を悉く拂ふならんと考ふれば私は總て我身の事と夫のあだむばーどに委ねます)

又 late = 具スルルハ。既ニ死シタル人ヲ尙ホ生キタル同時ノ人ニ示ス形容詞ト爲ル

It was through the late Ōkubo Toshimichi's memorial that the capital of Nippon was transferred to Yedo, which was then renamed Tōkyō. (帝都を江戸に遷して東京と改稱したるは故大久保利通の建議に由りてなり)

英語冠詞用法大尾

同發兌書肆

同出張所

大阪市東區備後町四丁目八十五番屋敷

敬業社

東京市神田區裏神保町一番地

印刷所

葆光社

東京市本郷區湯嶋壹丁目十三番地

印刷者

松本秋齋

東京市本郷區湯嶋壹丁目十三番地

發行者

井上蘇吉

東京市神田區裏神保町一番地

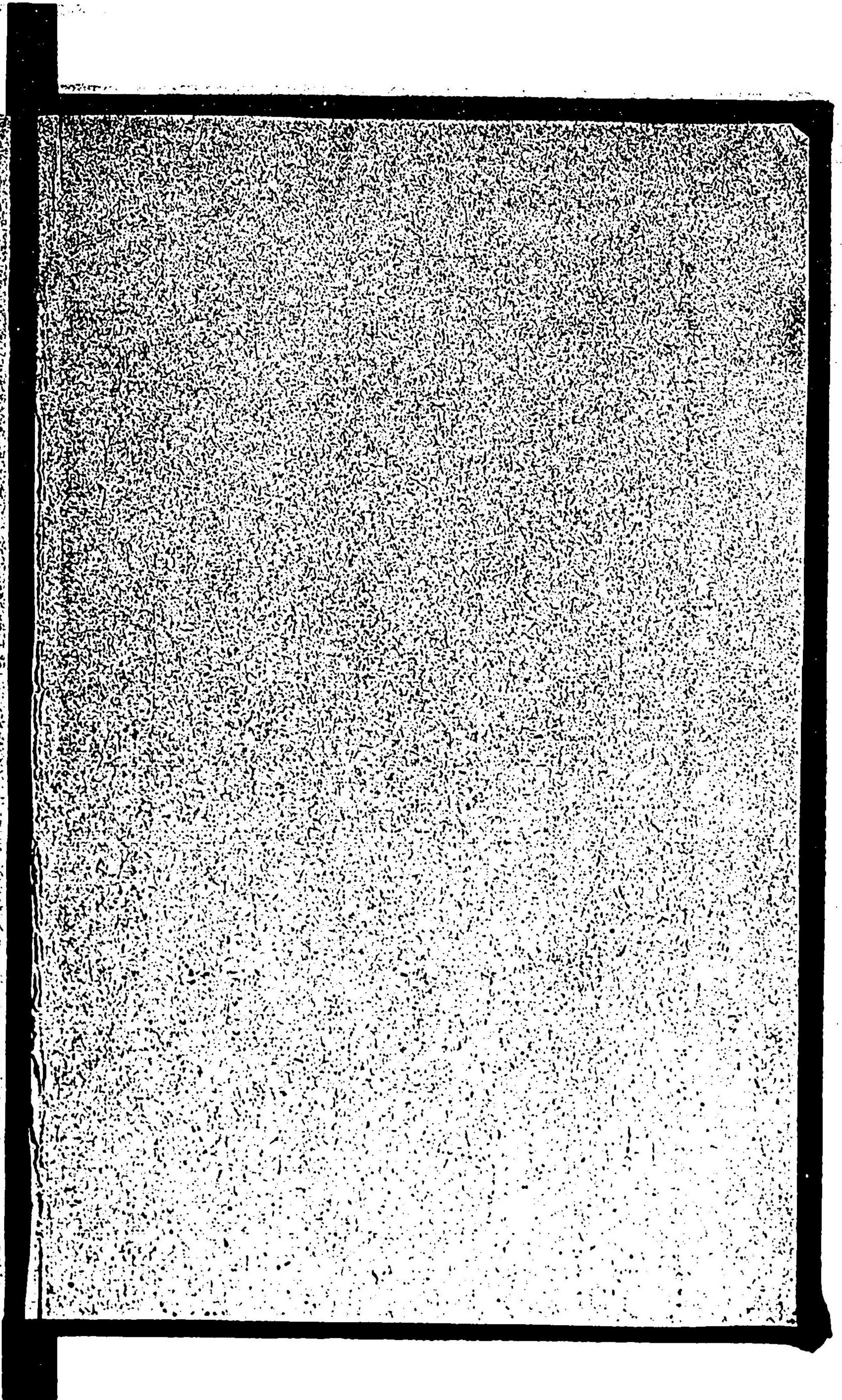
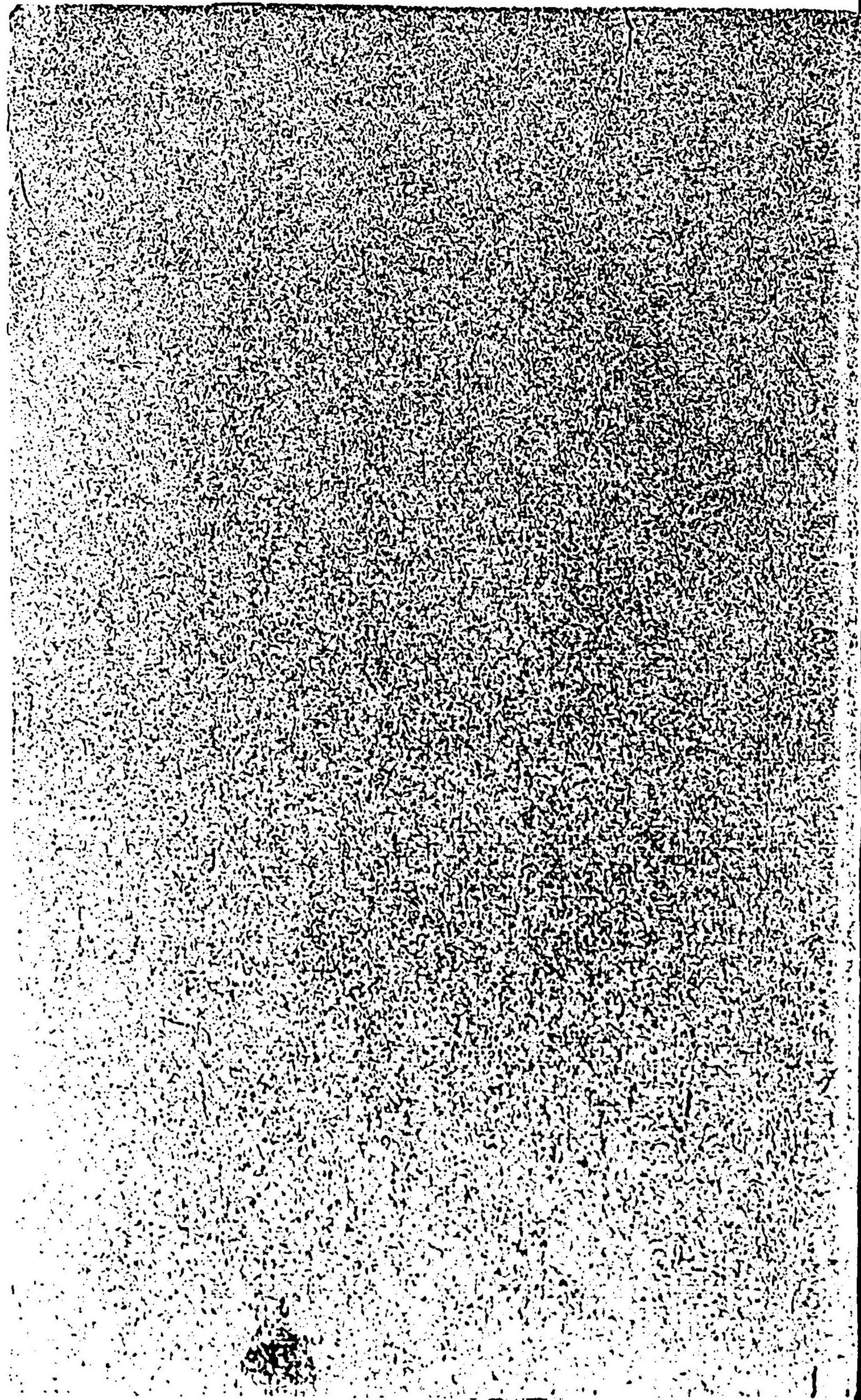
著作者

新樂金橘

東京市神田區美土代町二丁目一番地



明治三十年九月十八日發行
明治三十年九月十四日印刷



129
60

083178-000-2

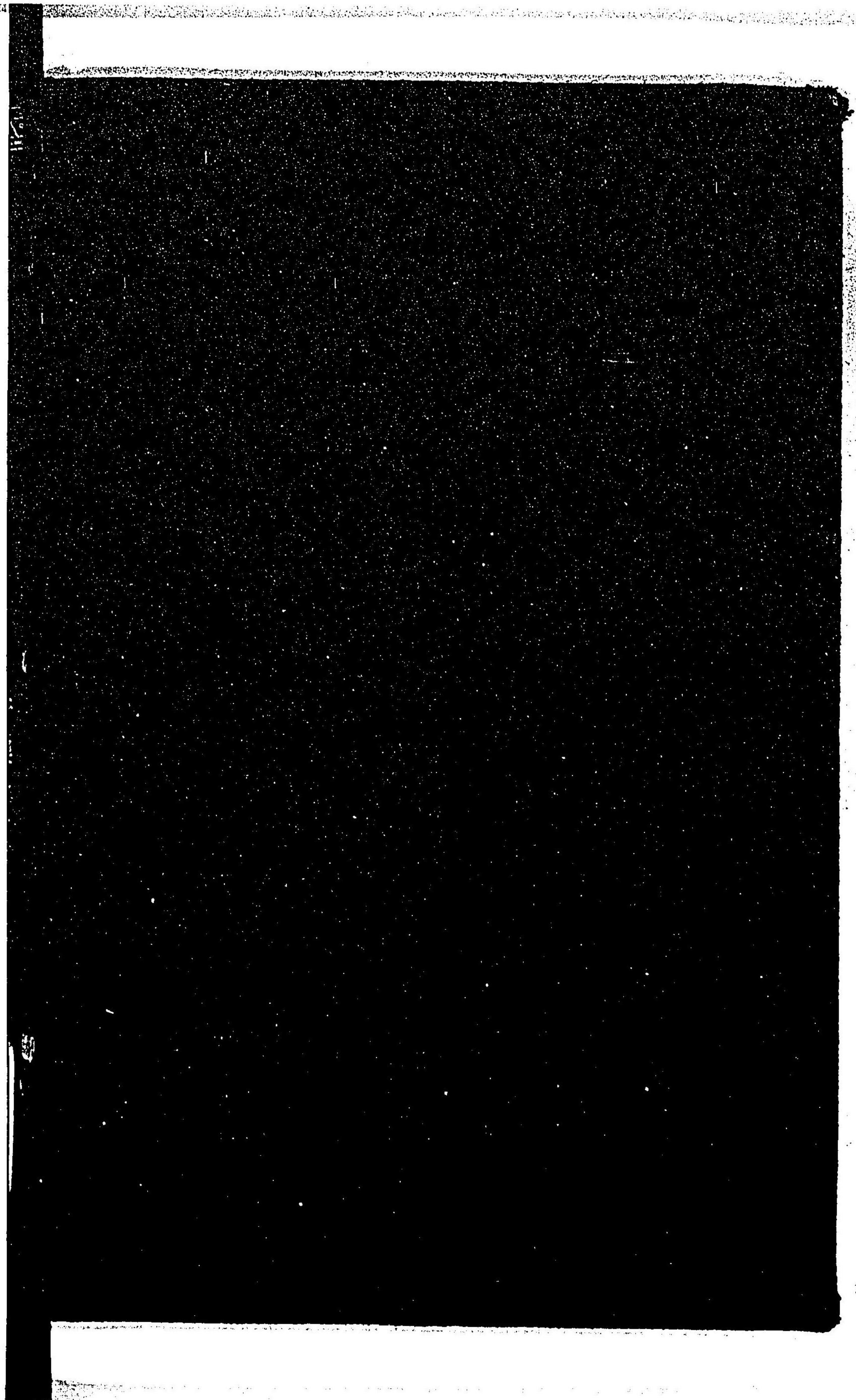
129-60(洋)

英語冠詞用法

新樂金橘/著

M30

DAH-0663



129
60